

Windows 版 SAS システムリリース 6.12 インストールガイド

Release 6.12 TS060 DBCS2922

序文

本書は、Windows 環境における SAS システムリリース 6.12 の導入方法について述べたものです。お使いの Windows マシンに SAS システムリリース 6.12 を導入する場合には、必ず本書をお読みください。

1999 年 11 月
株式会社 SAS インスティテュートジャパン

本書で解説するソフトウェアはライセンス契約のもとに提供されるものであり、同ソフトウェアはこの契約の条項にしたがってのみ、使用あるいは複写が許可されています。このため、御契約頂いた SAS ソフトウェアプロダクトを、契約書に記載されている以外の CPU 上で使用された場合にトラブルが発生しても、当社は同ソフトウェアプロダクトに関する契約上の保障およびサポートを一切行ないません。

本書で使用されているシステム名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

目次

序文	I
目次	III
本書の使い方	V
本書の構成	V
本書で使用する用語	VII
オンラインマニュアル	VIII
第1章 インストールを始める前に	1
1.1 インストール時の注意点	2
1.2 インストール時にエラーが発生した場合	3
第2章 SAS システムのインストール	5
2.1 セットアッププログラム(SETUP.EXE)の起動	5
2.2 MICROSOFT WIN32S 日本語版のインストール	8
2.3 設定言語の選択	9
2.4 セットアップタイプの選択	10
2.5 カスタムインストール	24
2.6 CD, クライアントインストール	27
第3章 ライセンス情報の更新	29
3.1 ライセンス情報ファイル(SETINIT.SAS)の編集	31
3.2 ライセンス情報の適用(SAS システムが起動できる場合)	32
3.3 ライセンス情報の適用(プログラムによる方法)	34
3.4 ライセンス情報の適用(コマンド入力による方法)	41
第4章 メンテナンスインストール	43
第5章 自動インストール	47
5.1 ファイルのコピーと SETUP.INI ファイルの変更	47
5.2 インストールの記録	48
5.3 再生インストール	50
5.4 トラブルシューティング	50

第 6 章 SAS システムの起動方法	51
第 7 章 トラブルシューティング	53
7.1 WIN32S インストール時のエラー	53
7.2 SAS ODBC ドライバインストール時のエラー	55
7.3 SAS システム起動時のエラー	58
第 8 章 プロダクトの追加インストール	59
第 9 章 SAS システムの削除方法	63
第 10 章 SAS システムビューワ	67
第 11 章 テクニカルサポート	69
付録 A 特殊な SAS ファイル	71
付録 B MICROSOFT WIN32S 日本語版のインストール	73
付録 C SAS ODBC ドライバのインストール	75
付録 D MICROSOFT VIDEO FOR WINDOWS 日本語版 のインストール	79
付録 E SAS/GRAPH ソフトウェア用フォント登録	81
E.1 SAS/GRAPH ソフトウェア用フォント登録	81
E.2 登録されたフォントを SAS/GRAPH ソフトウェアで利用する	85
付録 F SAS/GRAPH ソフトウェア用 SASNULL ドライバのインストール	87
F.1 SASNULL ドライバのインストール	87
付録 G SAS/GRAPH ソフトウェア地図データセット	89
付録 H SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェース使用時の注意点	91
付録 I SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェース使用時の注意点	93
付録 J SAS/TUTOR ソフトウェアの起動方法	95
付録 K SAS システムのディレクトリ構造	97

本書の使い方

本書の構成

本書では、主に Windows 版 SAS システム リリース 6.12 のインストール作業について説明します。インストール作業を始める前に、必ず本章と第 1 章をお読みください。

本書は 11 章と 11 の付録から構成されています。各章および付録の内容は次のとおりです。

□第 1 章:インストールを始める前に

インストールを開始する前に注意すべき点を説明します。

□第 2 章:SAS システムのインストール

SAS システムの新規インストール方法を説明します。

□第 3 章:ライセンス情報の更新

SAS システムのライセンス情報を更新する方法を説明します。

□第 4 章: メンテナンスインストール

リリース 6.12 TS020,TS045 からアップグレードする場合のインストール方法について説明します。

□第 5 章:自動インストール

SAS システムの自動インストール方法について説明します。

□第 6 章:SAS システムの起動方法

SAS システムの起動方法を説明します。

□第 7 章:トラブルシューティング

SAS システムのインストール中に生じる可能性のあるエラーとその対処方法を説明します。

□第 8 章:プロダクトの追加インストール

SAS システムのプロダクトを追加インストールする方法を説明します。

□第 9 章:SAS システムの削除方法

インストールした SAS システムを削除(アンインストール)する方法を説明します。

□第 10 章:SAS システムビューワ

SAS データセットの内容、SAS カタログのメンバー一覧を表示する SAS システムビューワのインストール方法を説明します。

□第 11 章:テクニカルサポート

SAS インスティテュートジャパンのテクニカルサポートについて説明します。

□付録 A:特殊な SAS ファイル

SAS システムの環境設定ファイル(CONFIG.SAS)および自動実行ファイル(AUTOEXEC.SAS)について説明します。

□付録 B:Microsoft Win32s 日本語版のインストール

Microsoft Win32s 日本語版をインストールする方法を説明します。

□付録 C:SAS ODBC ドライバのインストール

SAS ODBC ドライバをインストールする方法を説明します。

□付録 D:Microsoft Video for Windows 日本語版のインストール

Microsoft Video for Windows 日本語版をインストールする方法を説明します。

□付録 E:SAS/GRAPH ソフトウェア用フォント登録

SAS/GRAPH ソフトウェアで使用するデバイスドライバに、Windows で使用可能な TrueType フォントやノンスケーラブルフォントを登録する方法を説明します。

□付録 F:SAS/GRAPH ソフトウェア用 SASNULL ドライバ

SAS/GRAPH ソフトウェアで使用する SASNULL ドライバをインストールする方法を説明します。

□付録 G:SAS/GRAPH ソフトウェア地図データセット

SAS/GRAPH ソフトウェアで日本地図データセットを使用する場合の環境設定等について説明します。

□付録 H:SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェース使用時の注意点

Windows 版 SAS システムで SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェースを使

用する上での注意点について説明します。

□付録 I: SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェース使用時の注意点

Windows 版 SAS システムで SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェースを使用する上での注意点について説明します。

□付録 J: SAS/TUTOR ソフトウェアの起動方法

Windows 版 SAS システムで SAS/TUTOR ソフトウェアを起動する方法について説明します。

□付録 K: SAS システムのディレクトリ構造

Windows 版 SAS システムをハードディスクへインストールした際に生成されるディレクトリ構造を示します。

本書で使用する用語

本書で使用する用語について説明します。

SASROOT ディレクトリ

SAS システムをインストールする最上位のディレクトリを示します。SAS システムはこのディレクトリ下にインストールされます。SASROOT ディレクトリ名はユーザが自由に決められます。本書では SASROOT ディレクトリを SASROOT または!SASROOT と表します。

例えば、SAS システムを C:\SAS612 ディレクトリにインストールした場合には、SASROOT ディレクトリは、**C:\SAS612** を指します。

SAS コンサルタント

SAS システムに関する技術的な質問には、弊社テクニカルサポートが対応します。その際窓口となっていていただく方を SAS コンサルタントと呼んでいます。

SAS システムに関するサポートは、SAS インスティテュートジャパンと各サイトの SAS コンサルタントが共同で行います。SAS インスティテュートジャパンはソフトウェアのメンテナンスを担当し、各サイトの SAS コンサルタントは直接ユーザサポートを提供します。SAS コンサルタントが解決できないような問題に関しては、SAS コンサルタント自身が SAS インスティテュートジャパンのテクニカルサポートと連絡をとります。できるかぎり効率のよいサービスを行うために、SAS コンサルタント以外

のユーザからテクニカルサポートへ直接連絡することはご遠慮ください。

テクニカルサポートでは、SAS システムでのユーザエラー、システムの互換性上の問題、SAS ステートメントの構文に関する質問、プロシジャとその出力などに関して、サポートを提供します。ただし、特定目的用アプリケーション、ユーザプログラムの作成、新規ユーザの教育、統計手法一般についての質問に関してはテクニカルサポートの範囲外となります。これらのご相談につきましては弊社コンサルティングサービス(有料)までご連絡ください。

オンラインマニュアル

Windows 版 SAS システムに関する詳細については、SAS システムをインストールした後に必要なに応じて下記のオンラインマニュアルを参照してください。

□ Windows 版 SAS の使い方

□ Windows 版 SAS コンパニオン

第 1 章 インストールを始める前に

SAS システムのインストール作業を始める前に、必ず以下の点を確認してください。

✓ **ハードウェア/ソフトウェアの条件は満たされていますか？**

インストールパッケージに含まれている資料「**Windows 版 SAS システムリリース 6.12(TS060 DBCS2922) システム動作環境**」を参照して、Windows 版 SAS システムが必要とするハードウェアおよびソフトウェアの条件について確認してください。

✓ **PC の日付は正しく設定されていますか？**

お使いの PC の日付が現在の日付に正しく設定されていることを確認してください。日付が正しく設定されていないと、インストールを完了しても SAS システムを起動することができません。

PC の日付の確認や設定は、DOS プロンプトで DATE コマンドを使うか、または Windows のコントロールパネルの を使って行います。

✓ **SAS システムのインストール先のディスク空き容量を確認してください。**

Windows のファイルマネージャやエクスプローラを用いて、SAS システムをインストールするハードディスクの空き容量を調べてください。

ディスク空き容量 = M バイト

1.1 インストール時の注意点

1.1.1 インストールの種類

□リリース 6.12 TS020 もしくは TS045 がインストールされていない場合

「第2章 SAS システムのインストール」(5ページ) 参照してください。

□リリース 6.12 TS020 もしくは TS045 が既にインストールされている場合

変更のあったファイルのみをインストールできます。

「第4章 メンテナンスインストール」(43ページ) を参照してください。

□多数の PC に同じように SAS システムをインストールする場合

インストールの内容を記録して、他の PC で再生インストールできます。

「第5章 自動インストール」(47ページ) を参照してください。

□CD,クライアントインストール

SAS システムの CD-ROM 上のファイルを参照して実行することができます。

また、ネットワーク上の別の PC にインストールされている SAS システムのファイルを参照してクライアント PC で実行することができます。

「第2章 SAS システムのインストール」(5ページ) 参照してください。

なお、サーバー PC に SAS システムをインストールする際は、カスタムインストールを選択して、プロダクトの選択で「再インストールサポート」を選択してください。

1.1.2 リリース 6.11 以前のリリースからアップグレードする

以前のリリースからアップグレードし、SAS システムリリース 6.12 TS060 のみを使用する場合には、以前のリリースの SAS システムを削除(アンインストール)した後にリリース 6.12 TS060 の SAS システムをインストールしてください。

1.1.3 以前のリリースと共存させて使用する

以前のリリースとリリース 6.12 TS060 を共存させて使用する場合には、以前のリリースの SAS システムがインストールされているディレクトリとは別のディレクトリに、リリース 6.12 の SAS システムをインストールしてください。

1.2 インストール時にエラーが発生した場合

インストール時にエラーが発生した場合には、「第7章 トラブルシューティング(53ページ)」を参照してください。

それでも問題が解決しない場合には、インストールパッケージに含まれている「SAS Q&A シート」にエラーメッセージの内容等の詳細を記した上で FAX または電子メールにてテクニカルサポート宛にお送りください。



テクニカルサポート
については、「第11章
テクニカルサポート
(69ページ)」をご覧ください。

テクニカルサポート連絡先

FAX: 03-3533-3781 TEL: 03-3533-3877

電子メール: support@jpn.sas.com

(電子メールでご質問をいただく場合、決まった書式があります。最初に Subject を help として、お送りください。)

第 1 章 インストールを始める前に

第2章 SAS システムのインストール

本章では、リリース 6.12 TS060 Windows 版 SAS システムを新規にインストールする場合のインストール作業について、順を追って説明します。

リリース 6.12 TS020,TS045 からアップグレードする場合は、「第4章 メンテナンスインストール」(43ページ)を参照してください。

2.1 セットアッププログラム(SETUP.EXE)の起動

SAS システムのセットアッププログラムを起動する前に、必ず次の事項を確認してください。



1. 他のアプリケーションを起動している場合には、そのアプリケーションを終了させてください。
2. スクリーンセーバの設定を有効にしている場合には、設定を解除してください。

次の手順にしたがって、SAS システムのセットアッププログラムを起動してください。

1. Windows 3.1、Windows 95、Windows NT のいずれかを起動します。
2. インストールメディアを CD-ROM ドライブにセットします。
(クライアントインストールの場合は CD-ROM は使用しません。)



Windows 95、Windows NT 4.0 で CD-ROM のオートラン機能を有効にしている場合には、SAS システムのセットアッププログラムは自動的に起動されます。

"SAS System Setup"の右のアイコンをクリックして、第2.3節へ進んでください。

Windows 3.1 または Windows NT 3.51 を使用している場合には、次のようにしてください。

3. Windows のプログラムマネージャから **アイコン(F)** を選択します。
4. **アイコン** メニューから **ファイル名を指定して実行(R)...** を選択します。
5. コマンドラインに次のように入力します。

第3章 ライセンス情報の更新

<source_drive>:¥SAS¥SETUP

ここで、<source_drive> は SAS システムの CD-ROM がセットされているドライブです。

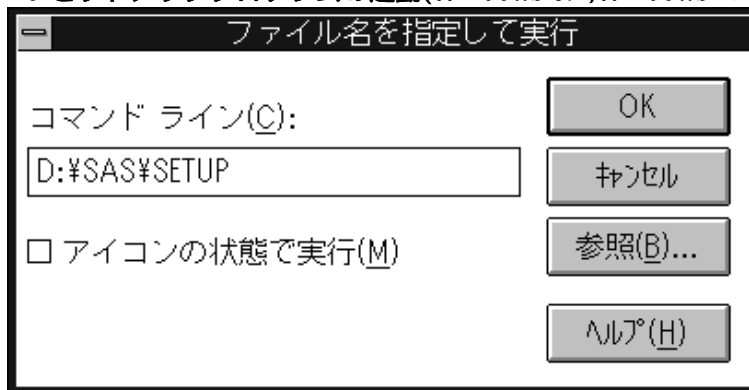
例えば CD-ROM ドライブが D の場合には、次のように入力します。

D:¥SAS¥SETUP

クライアントインストールの場合、ネットワーク上の別の PC にインストールされている SAS システムに含まれている SETUP プログラムをクライアント PC から起動します。

Windows のエクスプローラ (ファイルマネージャ) を利用して、サーバー PC の SAS ルートディレクトリの下にある SETUP.EXE ファイルを起動してください。

図 2-1: SAS セットアッププログラムの起動(Windows 3.1, Windows NT 3.51)



第3章 ライセンス情報の更新

Windows 95、Windows NT 4.0 を使用して CD-ROM のオートラン機能を無効にしている場合には、次のようにしてください。

3. タスクバーの **スタート** をクリックします。
4. メニューから **ファイル名を指定して実行(R)...** を選択します。
5. コマンドラインに次のように入力します。

```
<source_drive>:¥SAS¥SETUP
```

ここで、<source_drive> は SAS システムの CD-ROM がセットされているドライブです。

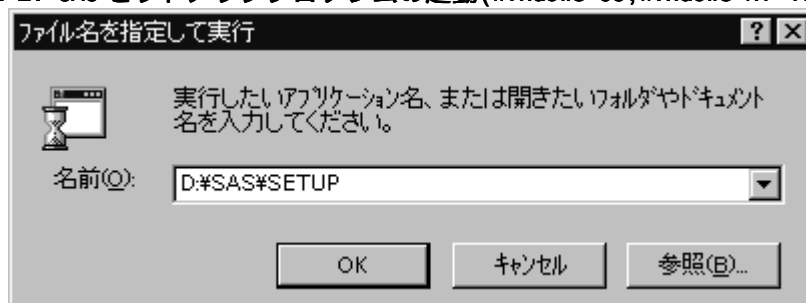
例えば CD-ROM ドライブが D の場合には、次のように入力します。

```
D:¥SAS¥SETUP
```

クライアントインストールの場合、ネットワーク上の別の PC にインストールされている SAS システムに含まれている SETUP プログラムをクライアント PC から起動します。

Windows のエクスプローラ（ファイルマネージャ）を利用して、サーバー PC の SAS ルートディレクトリの下にある SETUP.EXE ファイルを起動してください。

図 2-2: SAS セットアッププログラムの起動(Windows 95, Windows NT 4.0)



2.2 Microsoft Win32s 日本語版のインストール



Windows 95 または Windows NT を使用している場合には、Win32s は必要ありませんので Win32s のインストールは行われません。次節第 2.3 節に進んでください。

Windows 3.1 上で SAS システムリリース 6.12 を動作させるためには、Microsoft Win32s 日本語版 Version **1.30.166 以上**が必要となります。

SAS システムのセットアッププログラムは、現在インストールされている Win32s のバージョンが **1.30.166** に満たない場合には次のウィンドウを表示します。

図 2-3: Win32s のバージョンチェック



Win32s のインストール中にエラーが発生した場合には、トラブルシューティング(55 ページ)をご覧ください。

[Win32s 1.30.166 にアップグレード (U)]の項目をチェックしたまま、**終了** をクリックしてください。続けて Win32s のインストールプログラムが起動され、Win32s がインストールされます。

Win32s のインストールが終了すると Windows が再起動されますので、第 2.1 節に戻って再度 SAS システムのセットアッププログラムを起動してください。

なお、SAS システムのセットアッププログラムを実行する前に Microsoft Win32s 日本語版をインストールすることもできます。SAS システムのセットアッププログラムを実

第3章 ライセンス情報の更新

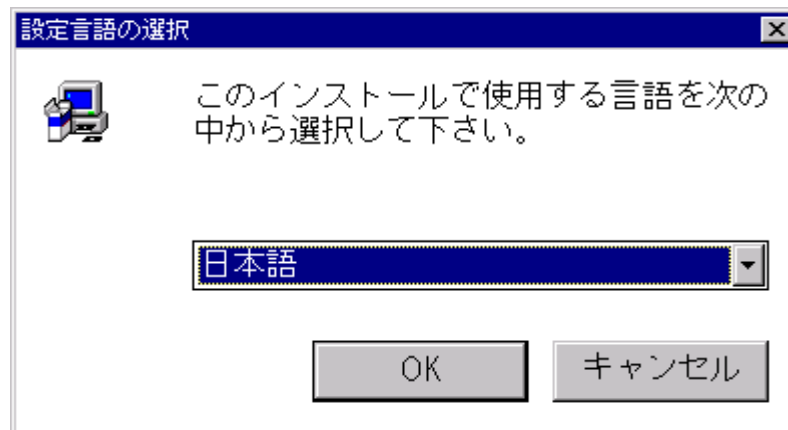
行する前に Win32s をインストールするには、「付録 B Microsoft Win32s 日本語版のインストール」(73ページ)をご覧ください。

2.3 設定言語の選択

次の設定言語の選択ウィンドウが表示されます。

をクリックしてください。

図 2-4: 設定言語の選択



2.4 セットアップタイプの選択

次の[セットアップタイプ選択]ウィンドウまで進みます。

図 2-5: セットアップタイプ選択



それぞれのインストールタイプについて説明します。

インストールタイプ	説明
すべて	<p>プロダクトライセンスの有無にかかわらず、SAS システムの<u>全ての</u> <u>プロダクト</u>をインストールします。</p> <p>ただし、サンプルプログラム、サンプルデータ、SAS/GRAPH ソフトウェアマップデータセットはインストールされません。</p> <p>約 452M バイトのディスク容量が必要です。</p>
最小	<p>SAS システムを起動するために<u>最小限必要なファイルのみ</u>^{*1}をインストールします。</p> <p>約 220M バイトのディスク容量が必要です。</p>

第3章 ライセンス情報の更新

カスタム	インストールしたいプロダクトを選択してインストールします。 全プロダクトを選択した場合、約 531M バイトのディスク容量が必要です。
CD,クライアント	CD-ROM 上の SAS システムを直接実行する場合や、ネットワーク上のリモートマシンにある SAS システムを実行する場合には、このタイプを選択します。

□ *1 最小インストールでインストールされるファイル

Core SAS ファイル
SAS DBCS サポートファイル
SAS 日本語サポートファイル
Base SAS ソフトウェア



<カスタムインストール、CD,クライアントインストール について>

□カスタムインストール

[セットアップタイプ選択]ウィンドウ(図 2-5)で指定した[インストール先]のディレクトリに、このあと選択する SAS システムのプロダクトをインストールします。
[インストール先]のディレクトリにインストールしなかったプロダクトは使用できません。

CD,クライアントインストールにくらべてディスク容量を多く必要としますが、実行速度は速くなります。

□CD,クライアントインストール

CD-ROM もしくは、ネットワーク上の他の PC にインストールされている SAS システムのファイルを使用する場合に選択します。一部のファイルをローカル PC にインストールすることもできます。

カスタムインストールにくらべて必要なディスク容量は少なくてすみませんが、実行速度は遅くなります。



カスタムインストールを選択した場合には、「2.5 カスタムインストール (24ページ)」へ進んでください。

CD,クライアントインストールを選択した場合には、「2.6 CD,クライアントインストール (27ページ)」へ進んでください。

第3章 ライセンス情報の更新

SAS システムは、C:\SAS にインストールされます。インストール先のフォルダを変更するには、 をクリックしてください。

第3章 ライセンス情報の更新

図 2-6 のようにインストール先のフォルダ(ディレクトリ)を入力してください。

図 2-6: ディレクトリの選択



2.4.1 SAS システムが既にインストールされている場合

インストール先のディレクトリに、既に SAS システムがインストールされていると次のウィンドウが表示されます。

図 2-7: SAS システムが既にインストールされている場合



それぞれのオプションについて説明します。

オプション	説 明
すべて削除	<p>インストール先のディレクトリにある、<u>サブディレクトリを含めた全てのファイルを削除します。</u></p> <p>インストール先のディレクトリに必要なファイルが存在する場合には、そのファイルを別のディレクトリにコピーした後、このオプションを選択してください。</p> <p><u>以前のバージョンの SAS システムが存在するディレクトリに、SAS システムリリース 6.12 をインストールする場合には、こちらを選択してください。</u></p>
上書き	<p>既に存在するファイルを削除せずにインストールを行います。</p> <p><u>一旦、SAS システムリリース 6.12 をインストールした後に、プロダクトを追加インストールする場合には、こちらを選択してください。</u></p>



全て削除 を選択すると、インストール先のディレクトリ下にあるすべてのファイル、ディレクトリが削除されますのでご注意ください。

2.4.2 ディスク空き容量のチェック

ディスクの空き容量が不足している場合には、図 2-8 のように容量が不足しているドライブの左側にアスタリスク(*)マークが表示されます。この場合には、**< 戻る(B)** をクリックした後、ディスクの空き容量を増やすか、CD、クライアントインストールを選択してください。

図 2-8: ディスク空き容量のチェック



2.4.3 スポーナプログラム登録の選択

Windows NT 環境で、[すべて]もしくは[カスタム]インストールで SAS/CONNECT ソフトウェアのインストールを選択した場合には、図 2-9 のウィンドウが表示されます。

SAS/CONNECT ソフトウェアのスポーナプログラムを Windows NT のサービスに登録する場合は、[SAS/CONNECT スポーナプログラム]を選択して、 をクリックしてください。登録の必要がない場合は、そのまま をクリックしてください。

図 2-9: SAS/CONNECT スポーナプログラム



2.4.4 プログラムグループの作成

[カスタム]、[CD,クライアント]インストールを選択した場合には SAS システムのアイコンに登録するグループ名(フォルダ名)を入力することができます。標準のグループ名は[The SAS System]です。

図 2-10: プログラムグループ名



2.4.5 インストールの開始

最後に、選択したインストールタイプやインストール先ディレクトリなどを確認して、**次へ(N) >** をクリックしてください。SAS システムのインストールが始まります。

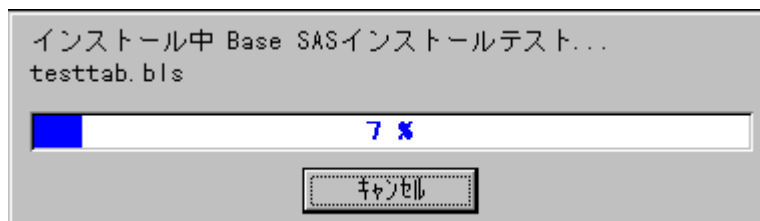
図 2-11: インストールオプションの確認



第3章 ライセンス情報の更新

次のインストールステータスバーでインストールの進行状況を確認することができます。

図 2-12: インストールステータスバー

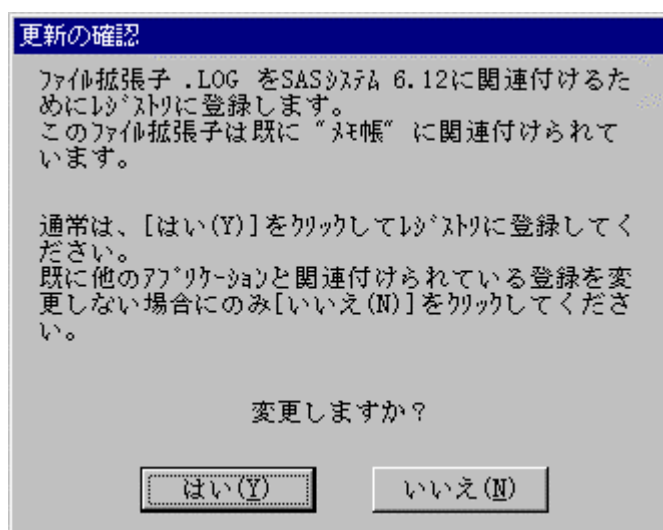


各プロダクトのインストール終了後、ファイル拡張子と SAS システムのアクションとの関連付け情報などがレジストリに記録されます。

□ 拡張子との関連付けをレジストリに登録する

登録しようとするファイル拡張子(.SAS や.SD2 など)が、既にレジストリに登録されている場合には次のようなウィンドウが表示されます。

図 2-13: ファイル拡張子の登録



SAS システムのファイル拡張子を登録しても問題ない場合には、 をクリックしてください。



通常は、 をクリックして SAS システムのファイル拡張子を登録してください。

ただし、既に他のアプリケーションと関連付けられているファイル拡張子の登録を変更しない場合には をクリックして SAS システムのファイル拡張子を登録しないでください。

第3章 ライセンス情報の更新

例) ファイル拡張子.LOG が既に「メモ帳」と関連付けられている場合(ファイル拡張子が.LOG のファイルをエクスプローラまたはファイルマネージャ内でダブルクリックするとメモ帳を起動するような設定になっている場合に、この関連付けを変更したくないときには、 をクリックしてください。

2.4.6 ライセンス情報の更新

次のウィンドウが表示されます。(表示されない場合は、2.4.7 節に進んでください。)

をクリックしてください。図 2-15 のメッセージが表示されますので、 をクリックしてください。

インストール終了後に「第3章 ライセンス情報の更新」(29ページ)を参照のうえ、ライセンス情報を適用してください。

既にライセンス情報のファイル(SETINIT.SAS)を用意している場合は を選択して、ここでライセンス情報を適用できます。手順は「第3章 ライセンス情報の更新」(29ページ)を参照してください。

図 2-14: ライセンス情報更新の確認

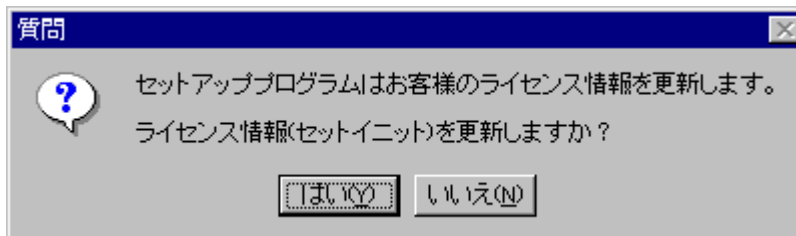
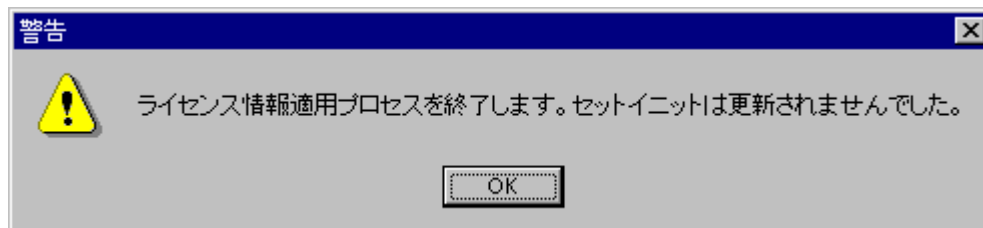


図 2-15: ライセンス情報適用プロセスの終了



2.4.7 SAS システムビューワのインストール

Windows 95, Windows NT で[最小]インストール以外を選択した場合は、SAS システムビューワのインストールを選択できません (SAS システムビューワは Windows 3.1 ではご利用になれません)。

SAS システムビューワは、SAS データセットの内容や SAS カタログのメンバー一覧などを表示するアプリケーションです。SAS システムビューワをインストールする場合は、そのまま、 をクリックしてください。インストールしない場合は、チェックボックスのチェックをはずして、 をクリックしてください。

SAS システムビューワは後からインストールすることもできます。その場合は、「第 10 章 SAS システムビューワ(67ページ)」を参照してください。

図 2-16: SAS システムビューワセットアップ



2.4.8 SAS ODBC ドライバのインストール

SAS ODBC ドライバを使用すると、ODBC(Open Database Connectivity)に準拠した他のアプリケーションから、SAS データセットを読み込むことができます。SAS ODBC ドライバをインストールする場合は、そのまま、 をクリックしてください。

インストールしない場合は、チェックボックスのチェックをはずして、 をクリックしてください。

第3章 ライセンス情報の更新

をクリックしてください。SAS ODBC ドライバは、後からインストールすることもできます。その場合は、「付録 C SAS ODBC ドライバのインストール(75ページ)」を参照してください。

図 2-17: 16 bit ODBC ドライバセットアップ



図 2-18: 32 bit ODBC ドライバセットアップ



各 OS ごとに利用可能な SAS ODBC ドライバは次の表のようになります。

(--- 利用可能 × --- 利用不可能)

OS	16 bit SAS ODBC ドライバ	32 bit SAS ODBC ドライバ
Windows 3.1		×
Windows 95		
Windows NT		

第3章 ライセンス情報の更新



Windows 3.1 をお使いの場合には、16 bit SAS ODBC ドライバのみ利用可能で、**32 bit SAS ODBC ドライバはインストールできません。**



SAS ODBC ドライバのインストール中にエラーが発生した場合には、トラブルシューティング(55ページ)をご覧ください。

Windows 95, Windows NT 上では、16bit、 32 bit SAS ODBC ドライバのインストールを選択できます。32 bit SAS ODBC ドライバだけのインストールをお勧めします。

2.4.9 SAS/GRAPH フォント登録

[すべて]もしくは、[カスタム]インストールで、SAS/GRAPH ソフトウェアのインストールを選択した場合は、図 2-19 のウィンドウが表示されます。

インストールプログラムでは、SAS/GRAPH ソフトウェアのフォント登録を行いません。インストール終了後に、SAS/GRAPH フォントユーティリティを使用して、フォントを登録してください。

SAS/GRAPH フォントユーティリティについては、「付録 E SAS/GRAPH ソフトウェア用フォント登録(81ページ)」を参照してください。

をクリックしてください。

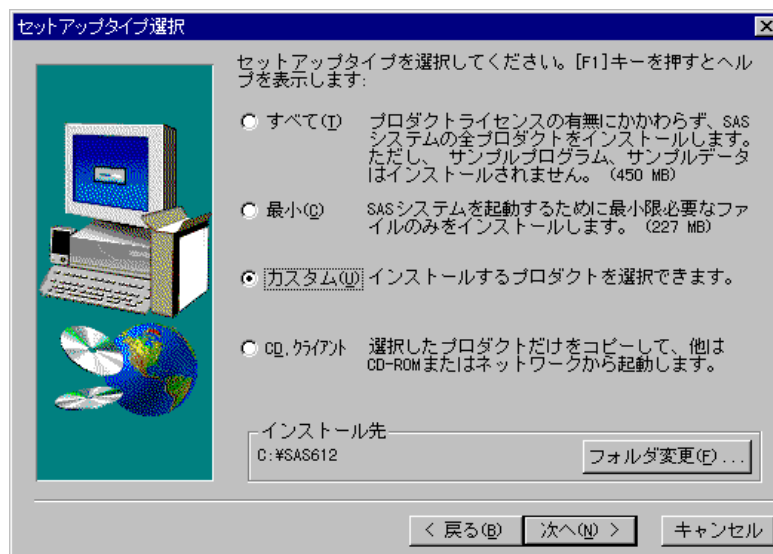
図 2-19: SAS/GRAPH フォントユーティリティダイアログ



2.5 カスタムインストール

本節では、[カスタム]インストールの方法について説明します。[すべて]インストールまたは、[最小]インストールを行う場合は第 2.4 節をご覧ください。また、[CD, クライアント]インストールを行う場合は第 2.6 節をご覧ください。

図 2-20: セットアップタイプ選択



[セットアップタイプ選択]ウィンドウで[カスタム]を選択すると、次の[カスタムインストール]ウィンドウが表示されます。

ここでインストールするプロダクトを選択します。プロダクトを選択した場合、プロダクト欄右端に選択したプロダクトのファイルサイズが表示されます。

図 2-21: プロダクトの選択



< プロダクトの選択方法 >

選択するプロダクトの左端のチェックボックスをマウスでクリックします。

また、 をクリックして各プロダクトの一部のコンポーネントだけをインストールすることもできます。



少なくとも、次のプロダクトは必ず選択してください。

- Base SAS ソフトウェア
- Core SAS
- SAS DBCS サポート
- SAS 日本語サポート

< プロダクトについての説明 >

□ Core SAS

SAS システムの主要部分です。SAS システム実行時に常に使用されるため、ローカルディスクにインストールすることをお勧めします。

□ SAS DBCS サポート

2 バイト文字の入出力をサポートします。SAS システム実行時に常に使用されるためローカルディスクにインストールすることをお勧めします。日本語を使用する場合には必須です。

□ SAS 日本語サポート

日本語のカタログ、メッセージファイル、ヘルプシステムなどです。日本語を使用する場合には必須です。

第3章 ライセンス情報の更新

□ 再インストールサポート

サーバーPC にインストールした SAS システムのファイルを、ネットワーク上の別のクライアント PC から利用する場合、サーバーPC へ SAS システムをインストールする際、「再インストールサポート」を選択してください。



SAS Notes の使用方法については、「SAS Technical Report T-100J SAS Notes パッケージの使い方 (全 14 ページ: 注文番号 10070)」をご覧ください。



□ SAS Notes

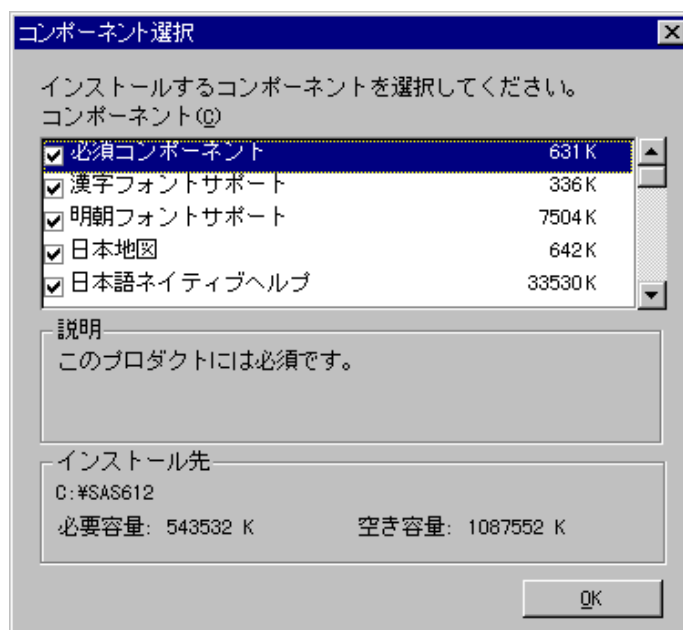
SAS ソフトウェアプロダクトに関する追加情報(SAS システム使用上の注意事項や問題点および解決方法)を提供するユーティリティです。「SAS Notes」は SAS システムを使用する上では必須ではありません。

(注意) SAS Notes 情報は英語で記載されています。

SAS/EIS ソフトウェアを選択する場合は、SAS/MDDDB Server ソフトウェアも選択してください。

図 2-21 で **オプション(O)...** をクリックすると次のようなウィンドウが表示され、各プロダクトの一部のコンポーネントだけを選択することができます。

図 2-22: コンポーネントの選択



インストールするコンポーネントを選択して、**OK** をクリックします。

「2.4.2 ディスク空き容量のチェック」(15ページ)に戻ってインストールを続けてください。

2.6 CD, クライアントインストール

本節では、[CD,クライアント]インストールの方法について説明します。[すべて]インストールまたは、[最小]インストールを行う場合は第2.4節をご覧ください。また、[カスタム]インストールを行う場合は第2.5節をご覧ください。

図 2-23: セットアップタイプ選択



[セットアップタイプ選択]ウィンドウで[CD,クライアント]を選択すると、次の[CD,クライアントインストール]ウィンドウが表示されます。

図 2-24: CD, クライアントインストール



第3章 ライセンス情報の更新

それぞれのインストール方法について説明します。

□すべて

すべてのプロダクトを CD-ROM または ネットワーク上の別のマシンに接続されているディスクから実行します。

SAS システムの SASWORK ディレクトリと SASUSER ディレクトリのみローカルマシンのディスク上に作成されます。

□選択

選択されたプロダクトと、SAS システムの SASWORK ディレクトリ、SASUSER ディレクトリをローカルマシンのディスク上に作成します。

残りのプロダクトは、CD-ROM またはネットワーク上の別のマシンに接続されているディスクから実行されます。



よく使用するプロダクトはローカルマシンのディスクにインストールすることをお勧めします。

また、[選択]を選んで CD-ROM からプロダクトを実行するようにした場合には、SAS システム使用時に SAS システムの CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入しておく必要があります。

[すべて]を選んだ場合には、第 2.4.3 節「スポーナプログラム登録の選択」(16ページ)へ進んでください。

[選択]を選んだ場合には、第 2.5 節「カスタムインストール」(24ページ)中の[プロダクトの選択]の箇所へ進んでください。

いずれかを選択して をクリックしてください。



SAS/GRAPH ソフトウェアのマップデータセットは Windows の COMPRESS コマンドで圧縮されていますので、CD-ROM のファイルを直接使用できません。

ハードディスクにインストールして、ご利用ください。(使用するコンポーネントのみをインストールすることをお勧めします。)

また、特定のデータセットのみを使用する場合は、Windows の EXPAND コマンドで解凍してください。

例) US.SD_ を解凍する場合

```
EXPAND US.SD_ C:¥SAS612¥MAPS¥US.SD2
```

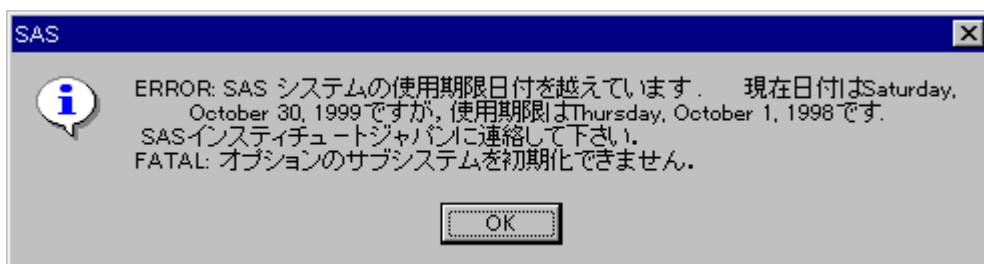
第3章 ライセンス情報の更新

SAS システムを使用するには、使用開始時または契約更新時に、セットユニット情報と呼ばれるライセンス情報を更新する必要があります。

この情報には、SAS システムのリリース番号、ユーザ名、契約期間、パスワードなど各種ライセンス情報が含まれており、これらが正しく設定されていなければ SAS システムをご使用できないようになっています。

例えば、SAS システムを起動した時に、次のようなウィンドウが表示された場合にはライセンス情報を更新する必要があります。

図 3-1: 使用期限切れメッセージ



また、SAS システム使用時に LOG ウィンドウに次のようなメッセージが表示された場合にもライセンス情報を更新する必要があります。

WARNING: SAS システムのライセンスは Feb 1, 2000 (30 日後) に切れそうです。
導入担当者に連絡して下さい。 この日付より SAS システムは動かなくなります。

これらの場合には、次ページ以降を参照のうえライセンス情報の適用を行ってください。

第3章 ライセンス情報の更新

ライセンス情報の適用は次の2つのステップからなります。

1. ライセンス情報ファイル(SETINIT.SAS)の編集

お客様独自のライセンス情報を記述したテキストファイルを作成します。

2. ライセンス情報の適用

ライセンス情報を適用するには次の3通りの方法があります。

次のいずれかの方法によりライセンス情報を適用してください。

- (1) SAS システムが起動できる場合には、SAS システムを起動して SETINIT.SAS ファイルを Program Editor に読み込み、サブミットする。
- (2) [ライセンス情報更新]プログラムを起動してライセンス情報を適用する。
- (3) コマンドを入力してライセンス情報を適用する。

3.1 ライセンス情報ファイル(SETINIT.SAS)の編集

3.1.1 ライセンス情報ファイル(SETINIT.SAS)の編集

ライセンス情報を記述した SETINIT.SAS ファイルを編集します。

通常、<SASROOT>\CORE\SASINST ディレクトリに、以前作成した SETINIT.SAS ファイルまたはトライアル用の SETINIT.SAS ファイルが存在します。そのファイルを任意のエディタに読み込んで編集してください。

なお、SETINIT.SAS ファイルが存在しない場合はエディタで新たに作成してください。SAS システムが起動できる状態であれば SAS システムの PROGRAM EDITOR を使用できます。編集が終了したら任意のディレクトリに SETINIT.SAS という名前で保存するか、上書き保存してください。

SETINIT.SAS ファイルのサンプル

```
PROC SETINIT RELEASE='6.xx';  
SITEINFO NAME='SAS JAPAN'  
SITE=01234567 OSNAME='WIN' RECREATE BIRTHDAY='23NOV95'd  
EXPIRE='31JUL98'D PASSWORD=012345678;  
CPU MODEL=' ' MODNUM=' ' SERIAL=' '  
EXPIRE 'BASE' 'GRAPH' 'ETS' 'FSP' 'AF' 'OR' 'IML'  
'ASSIST' '31JUL98';  
SAVE; RUN;
```



ライセンス情報はご契約いただいたサイトによって異なります。SETINIT.SAS ファイルの内容はお送りしたライセンス情報の通りに作成してください。アルファベットは半角文字で入力し、制御コードが混在しないようにしてファイルに保存してください。

また、Windows NT のメモ帳を使用する場合には、**Unicode で保存しない**でください。

なお、引用符で囲まれた文字はスペースの数などもチェックの対象になりますのでご注意ください。

3.2 ライセンス情報の適用(SAS システムが起動できる場合)

本節では、SAS システムを起動してライセンス情報を更新する方法を説明します。SAS システムが起動できない場合には、3.3 節または 3.4 節の方法でライセンス情報を更新してください。

3.2.1 SAS システムを起動してライセンス情報を更新する

1. SAS システムを起動して、[Program Editor]にお客さまが編集した SETINIT.SAS ファイルを読み込みます。
2. メニューから[ローカル(L)] [サブミット(S)] を選び、プログラムをサブミットします。

3.2.2 LOG ウィンドウの確認

ライセンス情報を適用した実行結果が LOG ウィンドウに出力されます。**ERROR:で始まるメッセージがなく**、ファイルの最終行付近に次のメッセージがあればライセンス情報の更新は完了です。

NOTE: サイト情報データを更新しました。

NOTE: 2 次セットユニット (SECONDARY SETINIT) データを更新しました。

更新に失敗している原因のほとんどは SETINIT.SAS ファイル中のタイプミスです。今一度、お客様のライセンス情報を参照して SETINIT.SAS ファイルの内容をご確認ください。

タイプミスの例

- (1) 「NAME=」の項目で(,),(-),スペースが足りない。
- (2) 引用符がぬけている。
- (3) 文末のセミコロンがぬけている。

なお、SETINIT.LOG ファイル中に「**ERROR: パスワード xxxxxxxxxx に無効な情報があります。**」と表示されている場合であっても、PASSWORD=以外の個所のタイプミスがエラーの原因であることがあります。この場合には、SETINIT.SAS ファイル

第3章 ライセンス情報の更新

のいずれかの個所にタイプミスが存在しますので、再度、SETINIT.SAS ファイルの内容をご確認ください。



テクニカルサポート
については、「第11章
テクニカルサポート
(69ページ)」をご覧ください。

エラー個所が不明な場合は SAS システムをインストールしたディレクトリに作られる SETINIT.LOG ファイルを添えて FAX または電子メールにてテクニカルサポートにお問い合わせください。

テクニカルサポート連絡先

FAX: 03-3533-3781

TEL: 03-3533-3877

電子メール: support@jpn.sas.com

3.3 ライセンス情報の適用(プログラムによる方法)

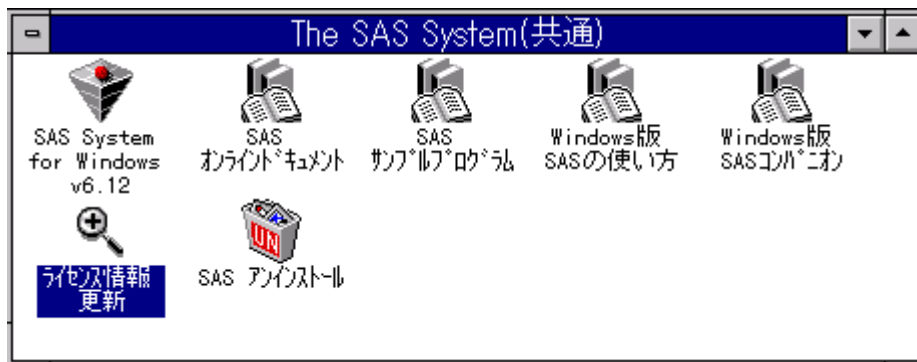
本節では、[ライセンス情報更新]プログラムを使用してライセンス情報を更新する方法を説明します。既に前節の方法によりライセンス情報を適用した場合には、改めて本節の方法によりライセンス情報を適用する必要はありません。

3.3.1 ライセンス情報更新プログラムの起動

□ Windows 3.1 または Windows NT 3.51 の場合

SAS システムのアイコンが登録されているプログラムグループから[ライセンス情報 更新]アイコンをダブルクリックします。

図 3-2: ライセンス情報更新 アイコン



□ Windows 95, Windows NT 4.0 の場合

・タスクバーから **スタート** **プログラム(P)** **The SAS System**
 ライセンス情報 更新 を選択します。

図 3-3: ライセンス情報更新プログラムの起動(Windows 95, Windows NT 4.0)



第3章 ライセンス情報の更新

3.3.2 SASROOT の確認と指定

次のウィンドウが表示されます。SAS がインストールされているディレクトリが指定されていることを確認して、 をクリックしてください。

図 3-4: SASROOT の確認と指定



3.3.3 SASFOLDER の確認

SASFOLDER に指定されているディレクトリが表示されます。

をクリックしてください。

第3章 ライセンス情報の更新

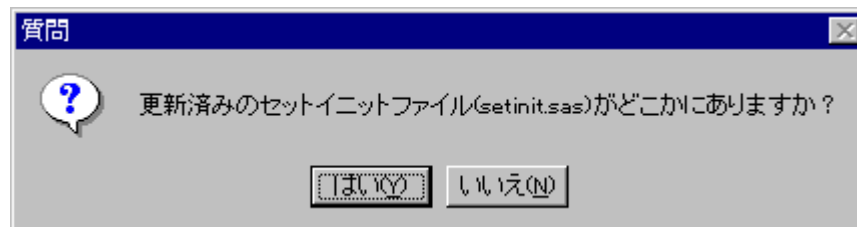
図 3-5: SASFOLDER の確認



3.3.4 「更新済みのセットユニットがどこかにありますか」

次のウィンドウが表示されますので、 をクリックしてください。

図 3-6: 「更新済みのセットユニットがどこかにありますか」



3.3.5 SETINIT.SAS ファイルが存在するディレクトリ

次のウィンドウが表示されますので、お客様が作成した SETINIT.SAS ファイルが存在するディレクトリを入力し、 をクリックしてください。

第3章 ライセンス情報の更新

図 3-7: SETINIT.SAS ファイルが存在するディレクトリ



例) SETINIT.SAS ファイルを C:\\$SAS612\CORE\SASINST ディレクトリに保存した場合には、次のように入力します。

C:\\$SAS612\CORE\SASINST

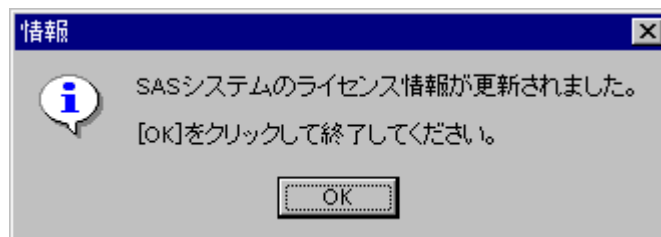
3.3.6 ライセンス情報の適用

ライセンス情報が正しく適用された場合には、次のウィンドウが表示されます。

をクリックすると SAS ライセンス情報更新プログラムは終了します。

このメッセージが表示されない場合は、第 3.3.7 節以降に進んでください。

図 3-8: 「ライセンス情報が更新されました。」

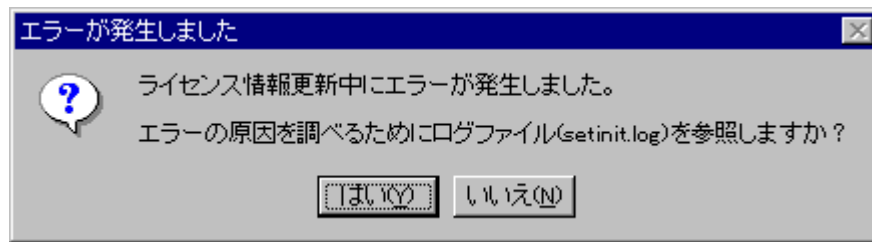


3.3.7 「エラーが発生しました。」

次のメッセージウィンドウが表示された場合にはライセンス情報の更新に失敗しています。 をクリックしてください。

第3章 ライセンス情報の更新

図 3-9: 「エラーが発生しました。」



3.3.8 ログファイル(SETINIT.LOG)の参照

図 3-10 のような [メモ帳] のウィンドウでログファイル(SETINIT.LOG)を参照してください。

確認を終えたら **ファイル(F)** メニューから **メモ帳の終了(X)** を選択し [メモ帳] を終了してください。



更新に失敗している原因のほとんどは **SETINIT.SAS ファイル中のタイプミス**です。今一度、お客様のライセンス情報を参照して SETINIT.SAS ファイルの内容をご確認ください。

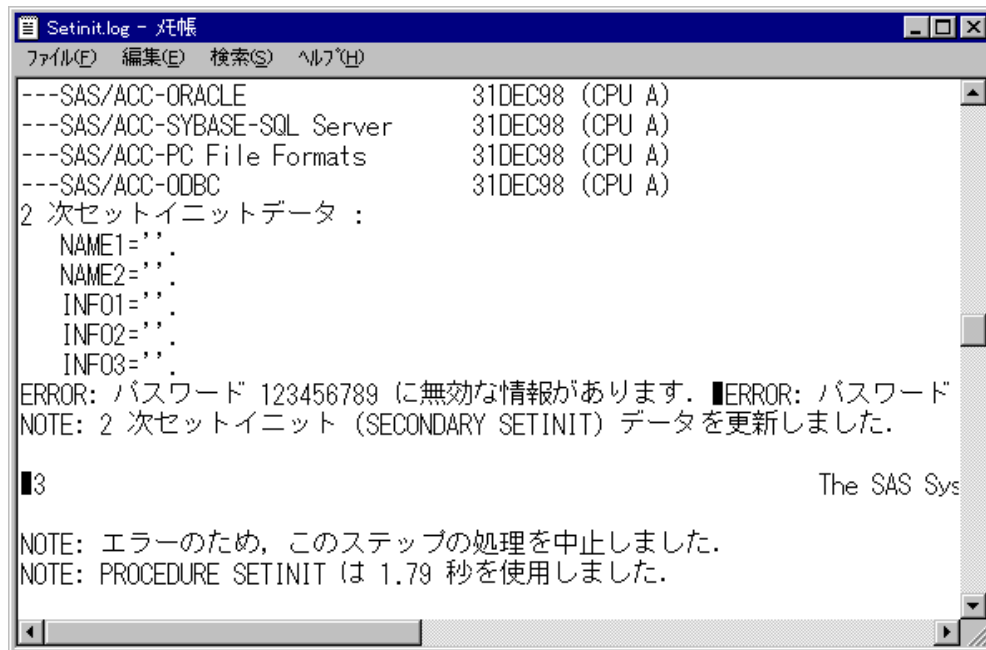
タイプミスの例

- (1) 「NAME=」の項目で(,),(-),スペースが足りない。
- (2) 引用符がぬけている。
- (3) 文末のセミコロンがぬけている。

なお、SETINIT.LOG ファイル中に「**ERROR: パスワード xxxxxxxxx に無効な情報があります.**」と表示されている場合であっても、PASSWORD=以外の個所のタイプミスがエラーの原因であることがあります。この場合には、SETINIT.SAS ファイルのいずれかの個所にタイプミスが存在しますので、再度、SETINIT.SAS ファイルの内容をご確認ください。

第3章 ライセンス情報の更新

図 3-10: SETINIT.LOG ファイルの参照



3.3.9 「setinit.sas を編集しますか？」

続いて次のウィンドウが表示されます。 をクリックしてください。

図 3-11: 「setinit.sas を編集しますか」

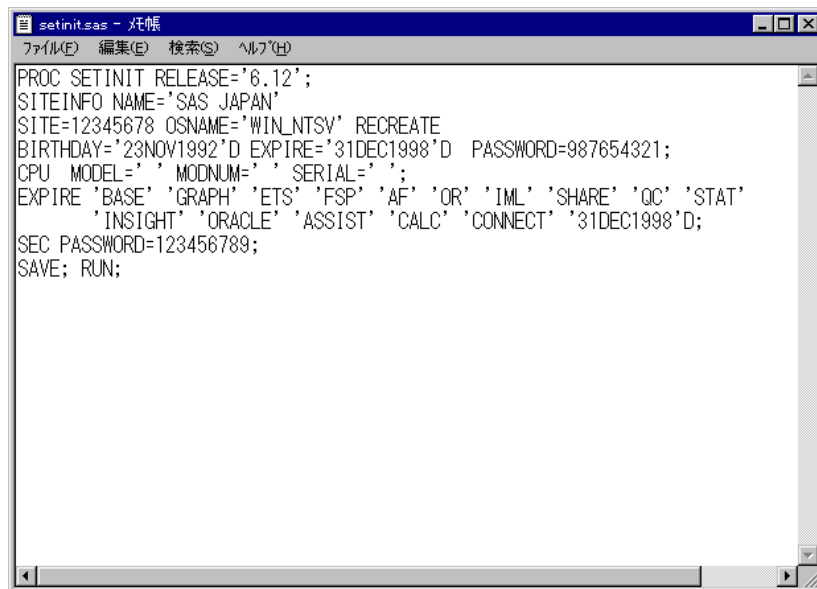


3.3.10 SETINIT.SAS ファイルの修正

[メモ帳]でエラー箇所を修正し、メニューから を選択して SETINIT.SAS ファイルを保存します。最後に メニューから を選択し [メモ帳]を終了します。

第3章 ライセンス情報の更新

図 3-12: SETINIT.SAS ファイルの修正



```
setinit.sas - 帳帳
ファイル(F) 編集(E) 検索(S) ヘルプ(H)
PROC SETINIT RELEASE='6.12';
SITEINFO NAME='SAS JAPAN'
SITE=12345678 OSNAME='WINLNTSV' RECREATE
BIRTHDAY='23NOV1992'D EXPIRE='31DEC1998'D PASSWORD=987654321;
CPU MODEL=' ' MODNUM=' ' SERIAL=' ';
EXPIRE 'BASE' 'GRAPH' 'ETS' 'FSP' 'AF' 'OR' 'IML' 'SHARE' 'QC' 'STAT'
      'INSIGHT' 'ORACLE' 'ASSIST' 'CALC' 'CONNECT' '31DEC1998'D;
SEC PASSWORD=123456789;
SAVE; RUN;
```

この後、図 3-8 のウィンドウが表示されれば、ライセンス情報の適用は完了です。

図 3-9 のウィンドウが表示された場合は、第 3.3.7 節に戻ってください。



テクニカルサポート
については、「第 11 章
テクニカルサポート
(69ページ)」をご覧ください。

エラー箇所が不明な場合は SAS システムをインストールしたディレクトリに作られる SETINIT.LOG ファイルを添えて FAX または電子メールにてテクニカルサポートにお問い合わせください。

テクニカルサポート連絡先

FAX: 03-3533-3781

TEL: 03-3533-3877

電子メール: support@jpn.sas.com

3.4 ライセンス情報の適用(コマンド入力による方法)

本節では、コマンド入力によるライセンス情報の適用方法を説明します。既に 3.2, 3.3 節の方法によりライセンス情報を適用した場合には、改めてコマンド入力によりライセンス情報を適用する必要はありません。

3.4.1 コマンド入力によるライセンス情報の適用

Windows 3.1, Windows NT 3.51 のプログラムマネージャのプルダウンメニューから、
 → を選択し、次のようにコマンドを入力してください。

Windows 95, Windows NT 4.0 の場合は、タスクバーから、
 → を選択し、次のようにコマンドを入力してください。

```
<SASROOT>%SAS <PATH>%SETINIT.SAS -SETINIT
```

ここで、<SASROOT> は、SAS システムがインストールされているディレクトリを指します。

<PATH> は、SETINIT.SAS ファイルが存在するディレクトリを指します。

(例) SAS システムを C:%SAS612 にインストールし、SETINIT.SAS ファイルが A:% に存在する場合。

```
C:%SAS612%SAS A:%SETINIT.SAS -SETINIT
```

3.4.2 ログファイルの確認

ライセンス情報を適用した実行結果が<SASROOT>ディレクトリ下の SETINIT.LOG ファイルに出力されます。**ERROR:で始まるメッセージがなく**、ファイルの最終行付近に次のメッセージがあればライセンス情報の更新は完了です。

NOTE: サイト情報データを更新しました。

NOTE: 2次セットイニット(SECONDARY SETINIT)データを更新しました。

更新に失敗している原因のほとんどは SETINIT.SAS ファイル中のタイプミスです。今

第3章 ライセンス情報の更新

一度、お客様のライセンス情報を参照して SETINIT.SAS ファイルの内容をご確認ください。

タイプミスの例

- (1) 「NAME=」の項目で(,),(-),スペースが足りない。
- (2) 引用符がぬけている。
- (3) 文末のセミコロンがぬけている。

なお、SETINIT.LOG ファイル中に「**ERROR: パスワード xxxxxxxxx に無効な情報があります.**」と表示されている場合であっても、PASSWORD=以外の個所のタイプミスがエラーの原因であることがあります。この場合には、SETINIT.SAS ファイルのいずれかの個所にタイプミスが存在しますので、再度、SETINIT.SAS ファイルの内容をご確認ください。



テクニカルサポートについては、「第11章 テクニカルサポート (69ページ)」をご覧ください。

エラー個所が不明な場合は SAS システムをインストールしたディレクトリに作られる SETINIT.LOG ファイルを添えて FAX または電子メールにてテクニカルサポートにお問い合わせください。

テクニカルサポート連絡先

FAX: 03-3533-3781

TEL: 03-3533-3877

電子メール: support@jpn.sas.com

第4章 メンテナンスインストール

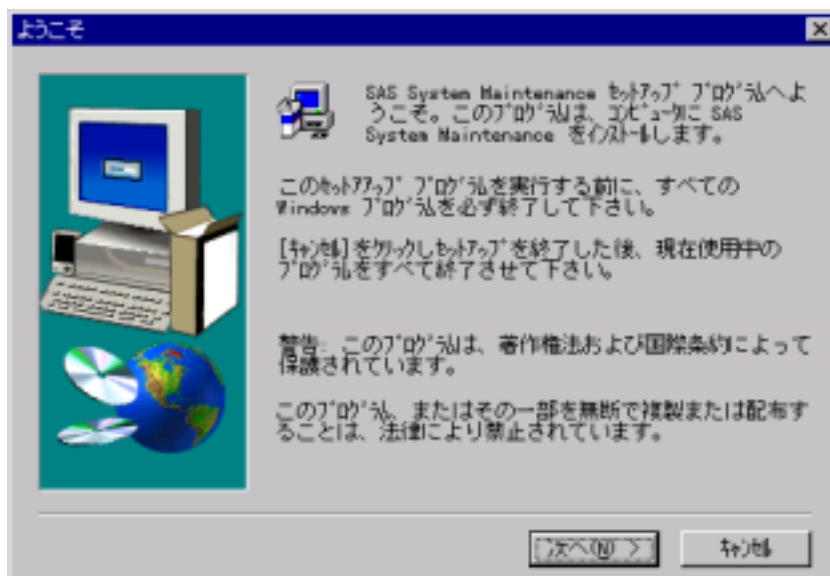
リリース 6.12 TS020,TS045 が既にインストールされている場合は、変更されているファイルのみをインストールできます。

4.1 セットアッププログラム(SETUP.EXE)の起動

第2章の「2.1 セットアッププログラム(SETUP.EXE)の起動」(5ページ)を参照して、セットアッププログラムを起動します。

図 4-1 のウィンドウが表示されます。 をクリックしてください。

図 4-1: メンテナンスインストール



4.2 インストール先の選択

図 4-2 のウィンドウが表示されます。インストール先を確認して、**次へ(N) >** をクリックしてください。

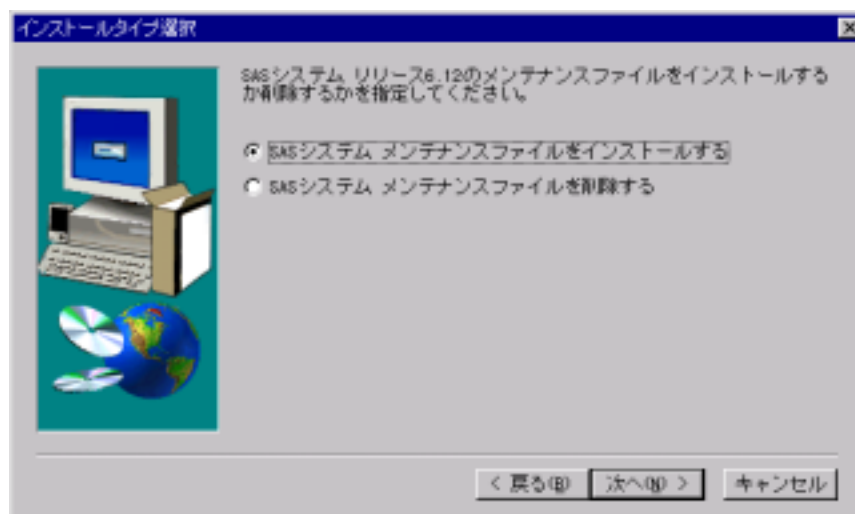
図 4-2: インストール先の選択



4.3 インストールタイプの選択

次のウィンドウが表示されます。**次へ(N) >** をクリックしてください。

図 4-3: インストールタイプ選択



4.4 インストールの完了

メンテナンスファイルのインストールが始まります。

次のウィンドウが表示されたら、メンテナンスファイルのインストールは完了です。

をクリックしてください。

図4-4: セットアップの完了



第4章 メンテナンスインストール

第 5 章 自動インストール

この章では、SAS システムの自動インストールの手順について説明します。

自動インストールは、セットアッププログラムの操作を記録したファイル(応答ファイルと呼びます)を参照して、非対話的に SAS システムのインストールを行う機能です。

多数の PC に SAS システムをインストールする場合に使用すると便利です。

5.1 ファイルのコピーと SETUP.INI ファイルの変更

- ・「SAS システムリリース 6.12 TS060」の CD-ROM の内容をすべてディスクにコピーします。
- ・¥SAS¥SETUP.INI ファイルの「読み取り専用」属性を変更します。
- ・¥SAS¥SETUP.INI ファイルの EnableLangDlg=Y を EnableLangDlg=N 変更します。

EnableLangDlg=N

第5章 自動インストール

5.2.2 記録モード選択

次のウィンドウが表示されます。

をクリックしてください。

その後、第2章「SAS システムのインストール」(5ページ)もしくは、第4章「メンテナンスインストール」(43ページ)を参照して、通常の手順でインストールを行ってください。

図 5-2: 記録モード選択



5.3 再生インストール

前の記録モードインストールで記録されたインストールを再生するには、/S オプションを指定してセットアッププログラムを起動します。

次のコマンドを実行します。

```
SETUP /S /F1<応答ファイルのパスとファイル名>
```

例) `SETUP /S /F1D:¥MYDIR¥MYFILES.ISS`

(/F1 と応答ファイルのパスの間にスペースは入りませんので、ご注意ください。

また、再生インストール時は /F1 オプションの省略はできません。)

5.4 トラブルシューティング

- 再生インストール時、SAS システムをインストールするドライブに十分な空きがない場合は、インストールできません。空きを増やしてから再度実行してください。
- 自動インストールは、SAS システムビューワ、SAS ODBC ドライバのような、SAS システム本体以外のインストール（外部セットアップ）を記録できません。記録インストールでこれらを選択した場合、再生インストール時に、その部分を手動で操作する必要があります。

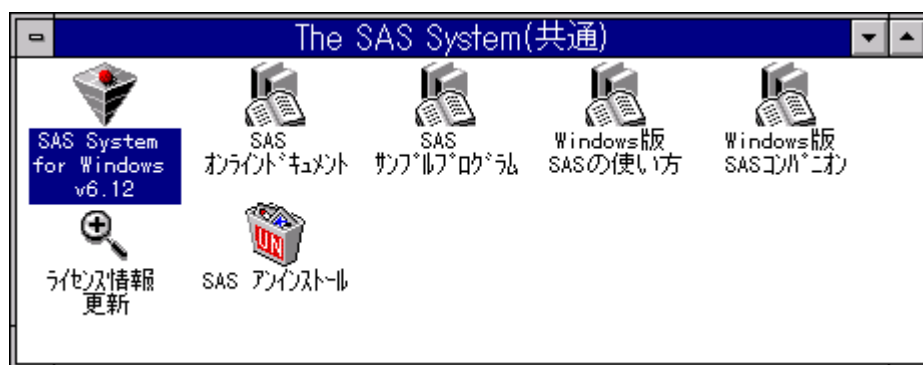
第 6 章 SAS システムの起動方法

Windows 環境で SAS システムを起動するには、次のような方法があります。

1. Windows 3.1, Windows NT 3.51 の場合

- SAS システムのアイコンをダブルクリックする

図 6-1: SAS システムのアイコン



- Windows のファイルマネージャで、インストールした SAS.EXE ファイルをダブルクリックする
- Windows のプログラムマネージャのプルダウンメニューから、
 を選択し、SAS の起動コマンドを入力する

例: C:¥SAS612¥SAS

2. Windows 95, Windows NT 4.0 の場合

- Windows 95, Windows NT 4.0 のタスクバーから
 を選択する

第 6 章 SAS システムの起動方法

図 6-2: SAS System ショートカットメニュー



- Windows のエクスプローラで、インストールした SAS.EXE ファイルをダブルクリックする

- Windows 95, Windows NT 4.0 のタスクバーから、
 を選択し、SAS の起動コマンド
を入力する

例: C:¥SAS612¥SAS

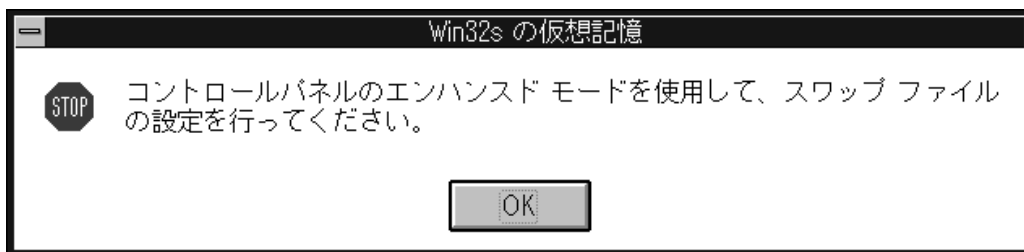
第7章 トラブルシューティング

7.1 Win32s インストール時のエラー

7.1.1 「スワップファイルの設定を行ってください。」

Win32s のインストール中に、次のウィンドウが表示されてインストールができません。

図 7-1: 「スワップファイルの設定を行ってください。」



<対処方法>

スワップファイルの設定が[なし]になっていると、Win32s のインストールをすることができません。

Windows の[メイン]グループにある[コントロールパネル]アイコン [エンハンスドモード]アイコン を選択して、

[種類(T):]を [常設]または[一時]に
[新しいサイズ(S):]を 0 以外の適当な値に設定してください。

第7章 トラブルシューティング

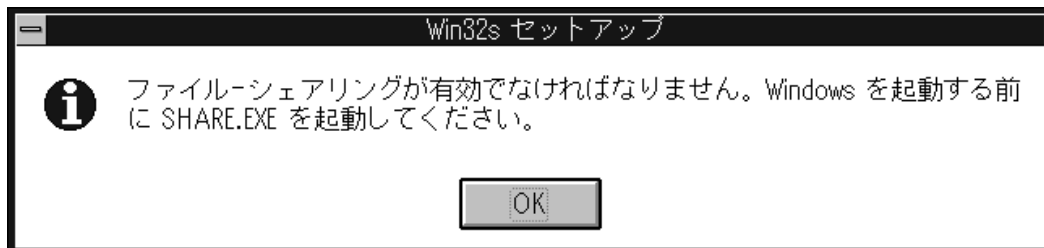
図 7-2: スワップファイルの設定



7.1.2 「ファイル-シェアリングが有効でなければなりません。」

Win32s のインストール中に、次のウィンドウが表示されます。

図 7-3: 「ファイル-シェアリングが有効でなければなりません。」



<対処方法>

DOS の AUTOEXEC.BAT ファイルに次の記述を追加した上で、コンピュータの電源を切り、再起動してください。

C:¥DOS¥SHARE.EXE /L:500 /F:5100

(注意) DOS の SHARE.EXE ファイルは C:¥DOS ディレクトリにあるものとします。

7.2 SAS ODBC ドライバインストール時のエラー

7.2.1 「This version of MSVCRT20.DLL is not compatible with Win32s」

Windows 3.1 上で、32bit SAS ODBC ドライバをインストールすると次のウィンドウが表示されてインストールができません。また、 をクリックするとコンピュータがハングアップしてしまいます。

図 7-4: MSVCRT20.DLL for Win32



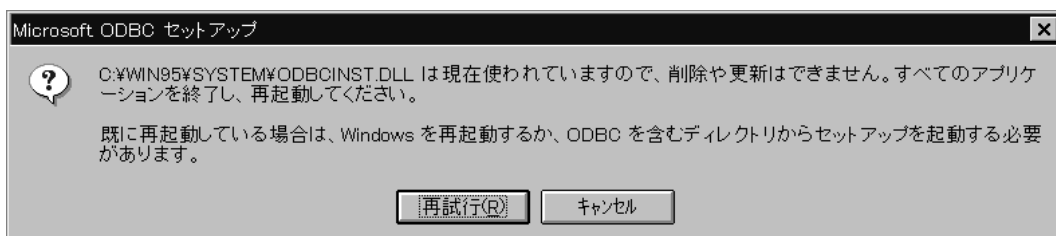
<対処方法>

Windows 3.1 上では、32bit SAS ODBC ドライバをインストールすることはできません(20ページ参照)。 をクリックする前に、他に起動しているアプリケーションのデータを全て保存させてください。その後、 をクリックしてコンピュータの電源を切り、再起動してください。

7.2.2 「ODBCINST.DLL は現在使われています」

16bit SAS ODBC ドライバをインストールすると次のウィンドウが表示されてインストールができません。

図 7-5: 「ODBCINST.DLL は現在使われています」



第7章 トラブルシューティング

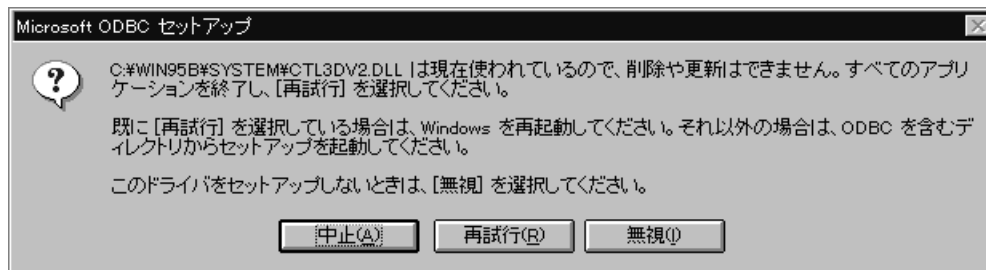
<対処方法>

をクリックして、一旦、ODBC ドライバのセットアップを終了し、Windows の SYSTEM ディレクトリ(例: C:\WIN95\SYSTEM、C:\WINDOWS\SYSTEM など)にある ODBCINST.DLL ファイルの名前を ODBCINST.OLD に変更してから、再度セットアップを行ってください。

7.2.3 「CTL3DV2.DLL は現在使われています」

16bit SAS ODBC ドライバをインストールすると次のウィンドウが表示されてインストールができません。

図 7-6: 「CTL3DV2.DLL は現在使われています」



<対処方法>

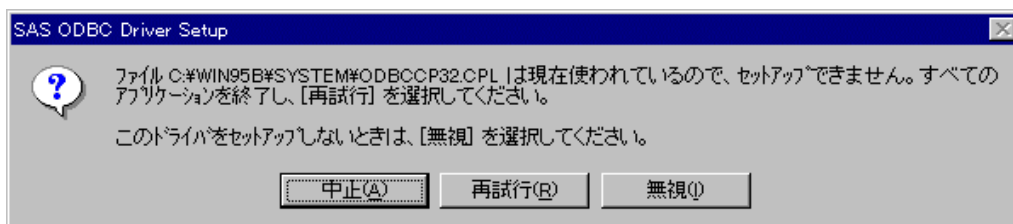
Microsoft Office Manager など、他のアプリケーションを起動している場合にこのようなエラーが生じます。

をクリックして、ODBC のセットアップを終了し、他に起動している全てのアプリケーションを終了させて再度セットアップを行ってください。

7.2.4 「ODBCCP32.CPL は現在使われています」

32bit SAS ODBC ドライバをインストールすると次のウィンドウが表示されてインストールができません。

図 7-7: 「ODBCCP32.CPL は現在使われています」



第7章 トラブルシューティング

<対処方法>

[コントロールパネル]が開かれています。[コントロールパネル]を閉じて、

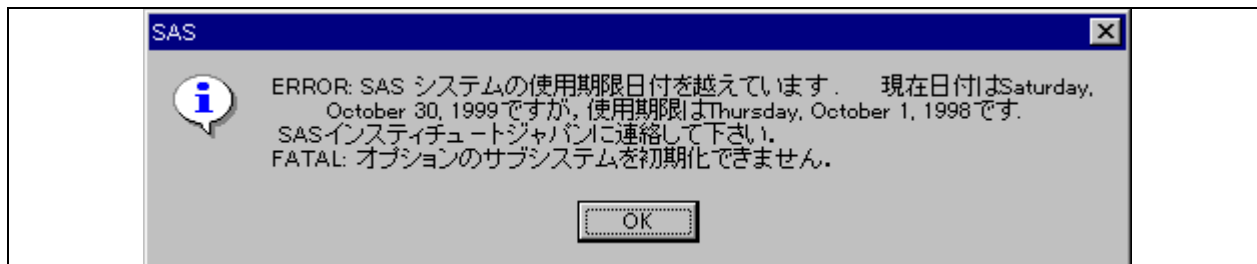
をクリックしてください。

7.3 SAS システム起動時のエラー

7.3.1 使用期限切れのメッセージが表示される

SAS システムを起動すると、次のように使用期限切れのメッセージが表示されて起動できません。

図 7-8: 使用期限切れメッセージ



<対処方法>

ライセンス情報が正しく適用されていません。「第3章ライセンス情報の更新」(29ページ)を参照して、ライセンス情報を正しく適用してください。

第 8 章 プロダクトの追加インストール

本章では、SAS システムのプロダクトを追加インストールする方法について説明します。

1. 「2.1 セットアッププログラム(SETUP.EXE)の起動」(5ページ)の手順に従って、SAS システムのインストールプログラムを起動し、[カスタムインストール]を選択してください。
2. 次のウィンドウが表示されますが、[上書き(M)]を選択して をクリックしてください。

図 8-1: プロダクトの追加インストール



第8章 プロダクトの追加インストール

3. [カスタムインストール]ウィンドウで、**追加するプロダクトのみ**選択します。[Base SAS ソフトウェア]、[Core SAS]、[SAS DBCS サポート]、[SAS 日本語サポート]は**非選択**の状態にしてください。

図 8-2: カスタムインストールウィンドウ



4. **次へ(N) >** をクリックして次のウィンドウまで進みます。

第 8 章 プロダクトの追加インストール

図 8-3: インストール先の選択



既にインストールされている SAS システムが存在するディレクトリ(SASROOT ディレクトリ)を指定して、**次へ(N) >** をクリックしてインストールを行ってください。

第 8 章 プロダクトの追加インストール

第9章 SAS システムの削除方法

インストールした SAS システムのファイルやアイコン、レジストリ情報を次のようにして削除(アンインストール)できます。

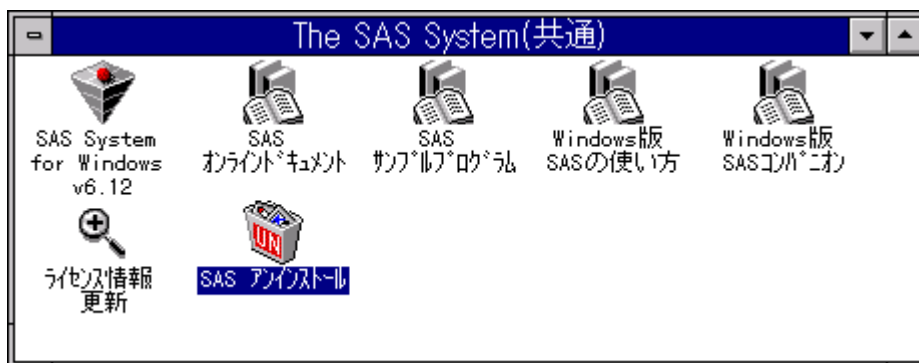


注意：本章の方法により SAS システムを削除するとインストールした全てのプロダクトが削除されます。一部のプロダクトのみを削除することはできませんのでご注意ください。

□ Windows 3.1 または Windows NT 3.51 の場合

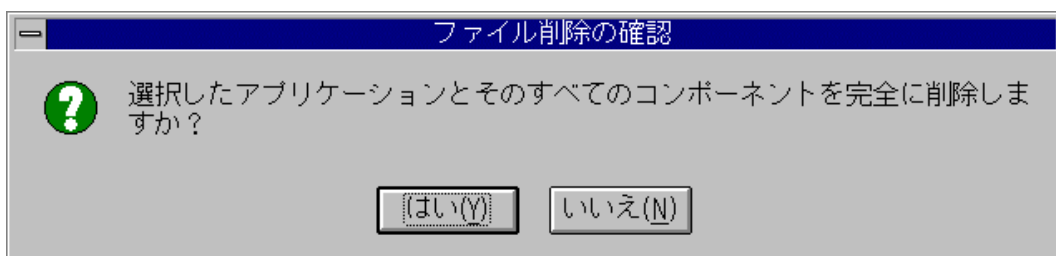
1. [SAS アンインストール]アイコンをダブルクリックします。

図 9-1: SAS アンインストール アイコン



2. [ファイル削除の確認]ダイアログで、 をクリックします。

図 9-2: ファイル削除の確認



□ Windows 95, Windows NT 4.0 の場合

1. [コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

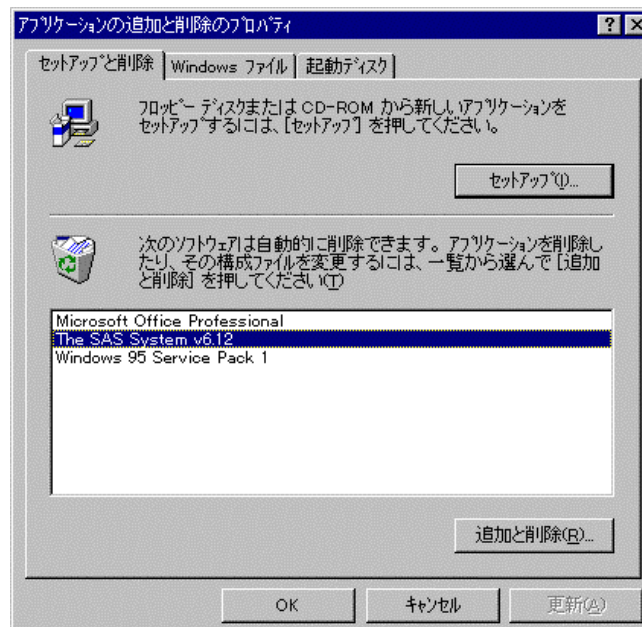
第9章 SAS システムの削除方法

図 9-3: アプリケーションの追加と削除 アイコン



2. [The SAS System v6.12]の項目を選択して **追加と削除(R)** をクリックします。

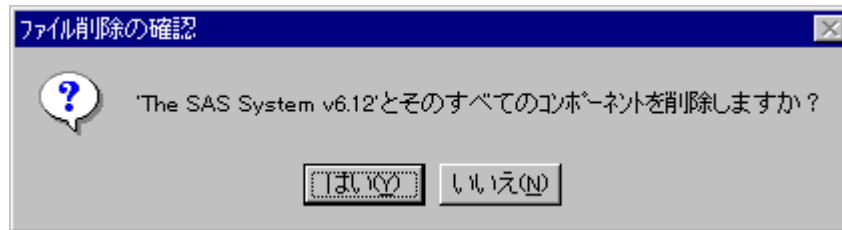
図 9-4: アプリケーションの追加と削除のプロパティ



第9章 SAS システムの削除方法

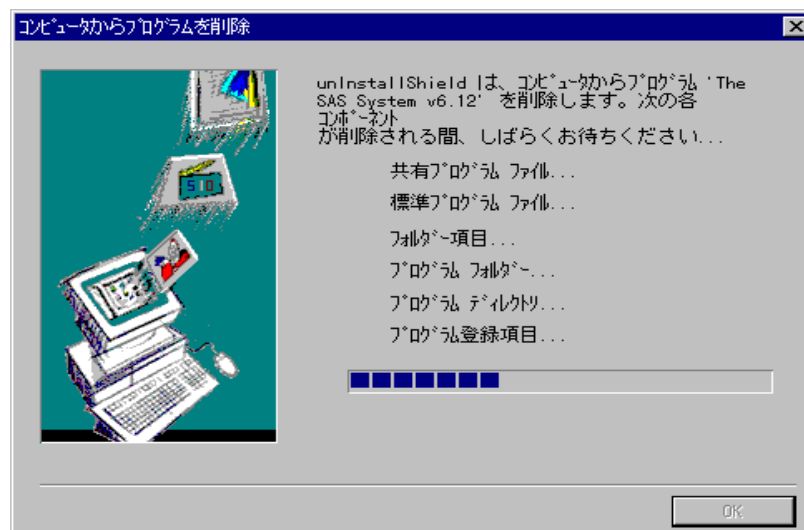
3. [ファイル削除の確認]ダイアログで、 をクリックします。

図 9-5: ファイル削除の確認



最後に、次のウィンドウが表示され SAS システムの削除が完了します。

図 9-6: SAS システムの削除



インストール後に作成されたファイル(SASUSER¥PROFILE.SC2 など)は、削除されませんのでファイルマネージャやエクスプローラを用いて削除してください。

第9章 SAS システムの削除方法

第 10 章 SAS システムビューワ

図 10-1: SAS システムビューワ

The screenshot shows the SAS System Viewer window titled 'SASシステムビューワ - Carsales.sd2'. The window contains a table with the following columns: デイラー (Dealer), 営業所 (Branch), 販売店 (Sales Store), 車種 (Vehicle Type), 担当者 (Salesperson), 月 (Month), and 金額 (Amount). The table lists 27 rows of data, including details for various dealers like '東京' (Tokyo) and '新宿' (Shinjuku), and salespeople like '萩村 恵太' (Hagimura Keita) and '福田 日出男' (Fukuda Hideo).

	ディーラー	営業所	販売店	車種	担当者	月	金額
1	東京	新宿	高井戸	スブライン	萩村 恵太	04	1,590
2	東京	新宿	高井戸	スブライン	萩村 恵太	04	1,100
3	東京	新宿	高井戸	スブライン	萩村 恵太	04	1,279
4	東京	新宿	高井戸	プロッツ	萩村 恵太	04	3,126
5	東京	新宿	高井戸	パター	今岸 悦二	04	1,500
6	東京	新宿	高井戸	パター	今岸 悦二	04	1,070
7	東京	新宿	高井戸	スブライン	今岸 悦二	04	1,277
8	東京	新宿	高井戸	スブライン	今岸 悦二	04	1,790
9	東京	新宿	高井戸	スブライン	今岸 悦二	04	1,256
10	東京	新宿	高井戸	アクセ	今岸 悦二	04	3,100
11	東京	新宿	高井戸	パター	田中 薫	04	770
12	東京	新宿	高井戸	パター	田中 薫	04	1,118
13	東京	新宿	高井戸	スブライン	田中 薫	04	2,460
14	東京	新宿	高井戸	スブライン	田中 薫	04	1,267
15	東京	新宿	高井戸	スブライン	田中 薫	04	1,970
16	東京	新宿	高井戸	パター	福田 日出男	04	829
17	東京	新宿	高井戸	スブライン	福田 日出男	04	1,874
18	東京	新宿	高井戸	スブライン	福田 日出男	04	2,446
19	東京	新宿	高井戸	スブライン	福田 日出男	04	1,682
20	東京	新宿	高井戸	スブライン	福田 日出男	04	1,735
21	東京	新宿	高井戸	プロッツ	福田 日出男	04	2,812
22	東京	新宿	高井戸	プロッツ	福田 日出男	04	2,252
23	東京	新宿	高井戸	パター	中村 憲樹	04	1,472
24	東京	新宿	高井戸	パター	中村 憲樹	04	768
25	東京	新宿	高井戸	パター	中村 憲樹	04	778
26	東京	新宿	高井戸	パター	中村 憲樹	04	1,219
27	東京	新宿	高井戸	スブライン	中村 憲樹	04	1,341

本リリースには、SAS データセットの内容や SAS カタログのメンバー一覧などを表示する SAS システムビューワが含まれています。SAS システムビューワは、Windows 版 SAS システムとは別個のアプリケーションです。



SAS システムビューワは、Windows 95、Windows NT 上でのみ使用できます (Windows 3.1 上では使用できません)。

次の SAS システムのファイルを表示できます。

- ・ リリース 6.04 以降の DOS 版、Windows 版、OS/2 版 SAS システムにより作成された SAS データセット (圧縮または暗号化されていても読むことができます)。
- ・ Windows 版、OS/2 版 SAS システムにより作成された SAS カタログ。
- ・ SAS プログラム (.sas ファイル)、OUTPUT ファイル (.lst ファイル)、LOG ファイル (.log ファイル)、テキストファイル (.txt ファイル)、RTF (Rich Text Format) フ

第 10 章 SAS システムビューワ

ファイル(.rtf ファイル)。

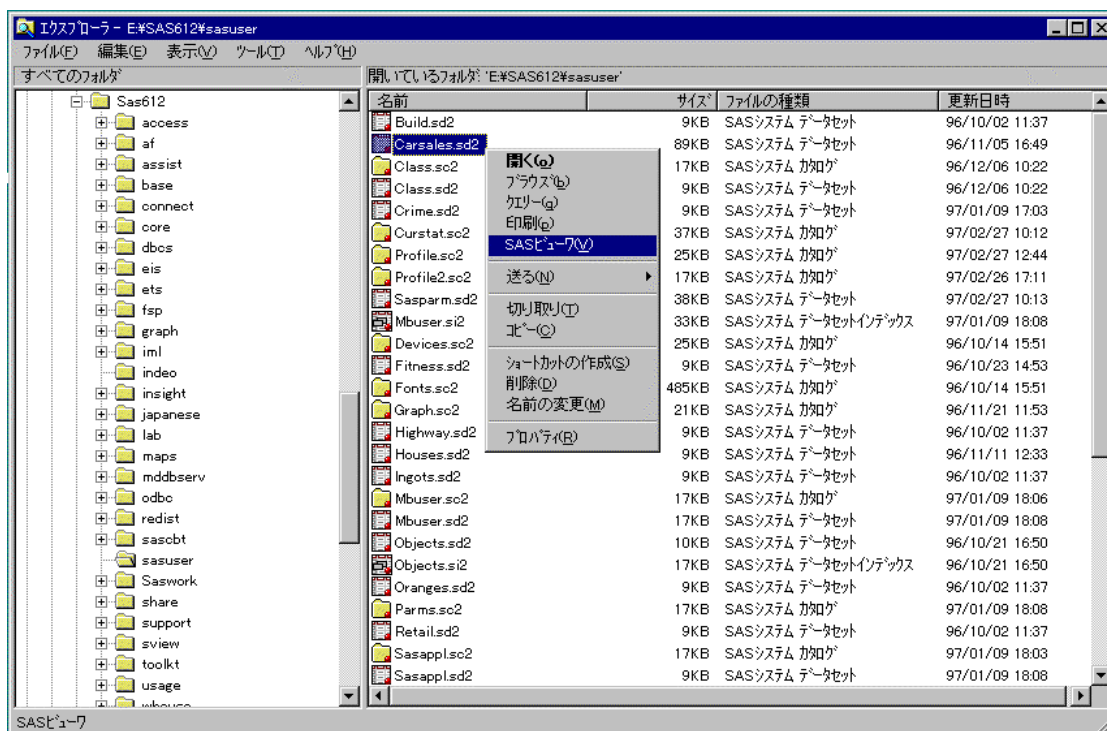
- ・ JMP ソフトウェアにより作成されたファイル(.JMP データファイル)。

また、ローカルの Windows マシンに SAS/CONNECT ソフトウェアがインストールされていれば、VMS, Macintosh, UNIX, OS/2, Windows, DOS の各プラットフォーム版 SAS システムで作成された SAS データセットや SAS カタログを HTTP や FTP プロトコルを利用してネットワーク経由で表示することもできます(漢字コードの変換もサポートしています)。

SAS システムビューワをインストールするには、インストールメディア(CD-ROM)の ¥SASVIEW¥DISK1¥SETUP.EXE を実行してください。

また、SAS システムビューワに関する詳細は、CD-ROM の ¥SASVIEW¥DISK1¥README.WRI ファイルまたは SAS システムビューワの[ヘルプ] メニューをご覧ください。

図 10-2: SAS システムビューワの起動



第 11 章 テクニカルサポート

SAS インスティテュートジャパンでは、SAS コンサルタントからの技術的な質問について FAX、電子メールでのテクニカルサポートを提供しています。

その他、World Wide Web による FAQ(Frequently Asked Questions)などの技術情報や修正モジュールの提供も行っています。

SAS システムに関するサポートは、SAS インスティテュートジャパンと各サイトの SAS コンサルタントが共同で行います。SAS インスティテュートジャパンはソフトウェアのメンテナンスを担当し、各サイトの SAS コンサルタントは直接ユーザサポートを提供します。SAS コンサルタントが解決できないような問題に関しては、SAS コンサルタント自身が SAS インスティテュートジャパンのテクニカルサポートと連絡をとります。できるかぎり効率のよいサービスを行うために、SAS コンサルタント以外のユーザからテクニカルサポートへ直接連絡することはご遠慮ください。

テクニカルサポートでは、SAS システムでのユーザエラー、システムの互換性上の問題、SAS ステートメントの構文に関する質問、プロシジャとその出力などに関して、サポートを提供します。ただし、特定目的用アプリケーション、ユーザプログラムの作成、新規ユーザの教育、統計手法一般についての質問に関してはテクニカルサポートの範囲外となります。これらのご相談につきましては弊社コンサルティングサービス(有料)までご連絡ください。

テクニカルサポート連絡先

FAX: 03-3533-3781 TEL: 03-3533-3877

電子メール: support@jpn.sas.com

(電子メールでご質問をいただく場合、決まった書式があります。最初に Subject を help として、お送りください。)

World Wide Web

<http://www.sas.com/japan/q/ts/>

第 11 章 テクニカルサポート

付録 A 特殊な SAS ファイル

SAS システムでは、次に示す特殊なテキストファイルを使用します。

□ SAS 環境設定ファイル(CONFIG.SAS)

CONFIG.SAS ファイルは、SAS システムの環境設定を行うためのファイルです。インストールの際にはデフォルト設定のファイルが導入されますが、テキストエディタを使用して内容を変更できます。

CONFIG.SAS ファイルの詳細については、オンラインマニュアルの [Microsoft Windows 版 SAS コンパニオン] [Windows 版 SAS システムの実行] [SAS システムの基本操作] [SAS システムで使うファイル] [SAS 環境設定ファイル] をご覧ください。

□ SAS 自動実行ファイル(AUTOEXEC.SAS)

AUTOEXEC.SAS ファイルに SAS ステートメントを記述しておく、その内容が SAS システムの起動時に実行されます。

AUTOEXEC.SAS ファイルは、SAS システムをインストールしただけでは作成されませんので、テキストエディタを使用して作成してください。

AUTOEXEC.SAS ファイルには、ライブラリ参照名の割り当てやシステムオプションの設定などを記述しておく、と便利です。

AUTOEXEC.SAS ファイルの記述例:

```
libname mylib 'c:¥mydir';  
filename pgm 'c:¥saspgm';  
options ls=132 ps=55;
```

AUTOEXEC.SAS の詳細については、オンラインマニュアルの [Microsoft Windows 版 SAS コンパニオン] [Windows 版 SAS システムの実行] [SAS システムの基本操作] [SAS システムで使うファイル] [SAS 自動実行ファイル] をご覧ください。

付録 A 特殊な SAS ファイル

付録 B Microsoft Win32s 日本語版のインストール



Windows 95 または Windows NT を使用している場合には、Win32s のインストールを行う必要はありません。

また、Windows 3.1 を使用し SAS システムのセットアッププログラムから Win32s のインストールを行った場合にも、以下に述べる方法により Win32s のインストールを行う必要はありません。

Windows 3.1 上で SAS システムリリース 6.12 を動作させるためには、Microsoft Win32s 日本語版 Version 1.30.166 以上が必要となります。

Microsoft Win32s 日本語版 Version 1.30.166 のインストールは、SAS システムのセットアッププログラムもしくは、Microsoft Win32s のセットアッププログラムのいずれからも行うことができます。

本付録では、Microsoft Win32s のセットアッププログラムから Win32s のインストールを行う方法を示します。

次の手順にしたがって Microsoft Win32s のセットアッププログラムを起動してください。

1. SAS システムのインストールメディアを CD-ROM ドライブにセットします。
2. Windows のプログラムマネージャから を選択します。
3. メニューから を選択します。
4. コマンドラインに次のように入力します。

```
<source_drive>:\$SAS\$WIN32S\$JA\$DISK1\$SETUP
```

ここで、<source_drive> は SAS システムの CD-ROM がセットされているドライブです。

例えば CD-ROM ドライブが D の場合には、次のように入力します。

```
D:\$SAS\$WIN32S\$JA\$DISK1\$SETUP
```

付録 B Microsoft Win32s 日本語版のインストール



インストール中にエラーが発生した場合には、トラブルシューティング(53ページ)をご覧ください。

5. 次のウィンドウが表示されますので、**続行(C)** をクリックして Microsoft Win32s のインストールを開始してください。

図 B-1: Microsoft Win32s セットアップ



付録 C SAS ODBC ドライバのインストール

SAS ODBC ドライバのインストールは、SAS システムのセットアッププログラムもしくは、SAS ODBC ドライバのセットアッププログラムのいずれから行うことができます。

本付録では、SAS ODBC ドライバのセットアッププログラムから 16bit または 32bit SAS ODBC ドライバのインストールを行う方法を示します。

各 OS ごとに利用可能な SAS ODBC ドライバは次の表のようになります。

(--- 利用可能 × --- 利用不可能)

OS	16 bit SAS ODBC ドライバ	32 bit SAS ODBC ドライバ
Windows 3.1		×
Windows 95		
Windows NT		



Windows 3.1 をお使いの場合には、16 bit SAS ODBC ドライバのみ利用可能で、**32 bit SAS ODBC ドライバはインストールできません。**

次の手順にしたがって、SAS ODBC ドライバのセットアッププログラムを起動してください。

1. SAS システムのインストールメディアを CD-ROM ドライブにセットします。



Windows 3.1 または
Windows NT 3.51 を
使用している場合。

Windows 3.1 または **Windows NT 3.51** を使用している場合には、次のようにして SAS ODBC ドライバのセットアッププログラムを起動してください。

2. Windows のプログラムマネージャから **アイコン(F)** を選択します。
3. **アイコン** メニューから **ファイル名を指定して実行(R)...** を選択します。

付録 C SAS ODBC ドライバのインストール



Windows 95 または
Windows NT 4.0 を使
用している場合。

Windows 95 または Windows NT 4.0 を使用している場合には、次のようにして SAS ODBC ドライバのセットアッププログラムを起動してください。

2. タスクバーの **スタート** をクリックします。
3. メニューから **ファイル名を指定して実行(R)...** を選択します。



16 bit SAS ODBC ド
ライバのインストー
ル方法。

16 bit SAS ODBC ドライバをインストールする場合。

4. コマンドラインに次のように入力します。

```
<source_drive>:¥SAS¥ODBC¥JA¥SETUPW16¥SETUP
```



32 bit SAS ODBC ド
ライバのインストー
ル方法。

32 bit SAS ODBC ドライバをインストールする場合。

4. コマンドラインに次のように入力します。

```
<source_drive>:¥SAS¥ODBC¥JA¥SETUPW32¥SETUP
```

ここで、<source_drive> は SAS システムの CD-ROM がセットされているドライブです。

例えば CD-ROM ドライブが D の場合には、次のように入力します。

```
D:¥SAS¥ODBC¥JA¥SETUPW32¥SETUP
```

次のウィンドウが表示されますので、 **続行(C)** をクリックしてインストールを続けてください。

図 C-1: SAS ODBC Driver Setup



付録 C SAS ODBC ドライバのインストール



インストール中にエラーが発生した場合には、トラブルシューティング(53ページ)をご覧ください。

ファイルがコピーされた後に、次のウィンドウが表示されます。 をクリックしてください。

図 C-2: SAS ODBC Driver



をクリックしてデータソースを定義する方法については、「SAS Technical Report E-102J SAS ODBC ドライバ: ユーザーズガイド(別売)」をご覧ください。

続いて、次のような[データソース]ウィンドウが表示されますので、 をクリックしてください。

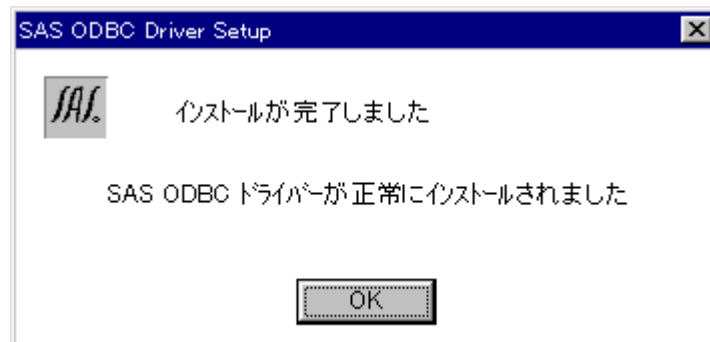
図 C-3: データソース



最後に、次のウィンドウが表示され SAS ODBC ドライバのセットアップが終了します。 をクリックしてください。

付録 C SAS ODBC ドライバのインストール

図 C-4: SAS ODBC Driver Setup



付録 D Microsoft Video for Windows 日本語版のインストール

本付録では、Microsoft Video for Windows 日本語版をインストールする方法を説明します。

Windows 3.1 上で SAS システムのビデオ再生機能を使用する場合には、Microsoft Video for Windows 1.1 日本語版をインストールする必要があります。



Windows 95 または Windows NT をお使いの場合には、Microsoft Video for Windows 日本語版をインストールする必要はありません。



Microsoft Video for Windows 日本語版は、SAS システムのセットアッププログラムからはインストールされませんので、次の手順に従ってインストールしてください。

1. SAS システムのインストールメディアを CD-ROM ドライブにセットします。
2. Windows のプログラムマネージャから **アイコン(F)** を選択します。
3. **アイコン** メニューから **ファイル名を指定して実行(R)...** を選択します。
4. コマンドラインに次のように入力します。

```
<source_drive>:\$SAS\INDEO\JAYSETUP
```

ここで、<source_drive> は SAS システムの CD-ROM がセットされているドライブです。

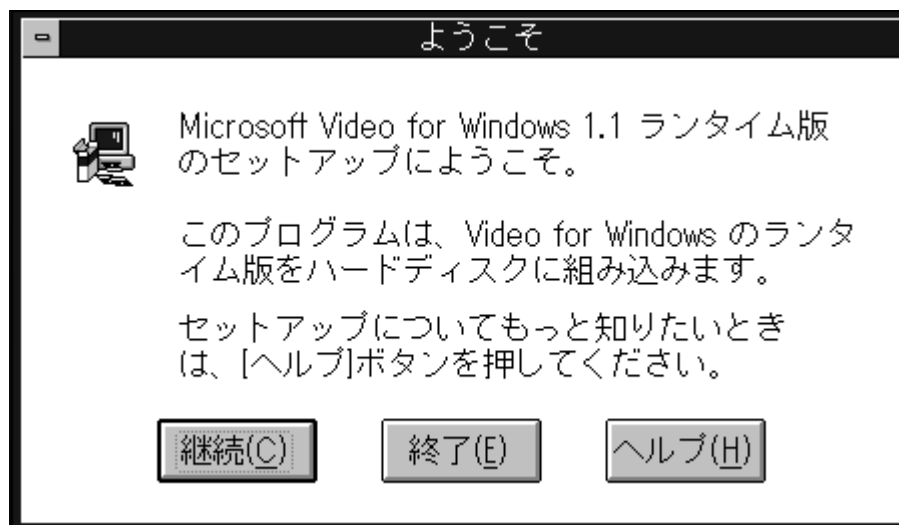
例えば CD-ROM ドライブが D の場合には、次のように入力します。

```
D:\$SAS\INDEO\JAYSETUP
```

次のウィンドウが表示されますので、**継続(C)** をクリックしてインストールを続けてください。

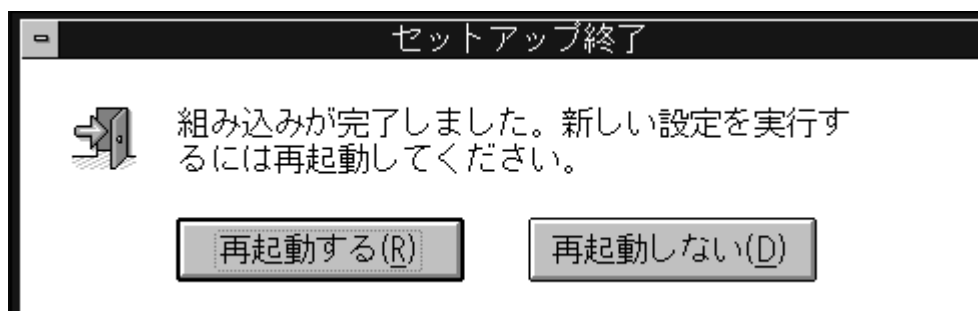
付録D Microsoft Video for Windows 日本語版のインストール

図 D-1: Microsoft Video for Windows 日本語版のインストール



Microsoft Video for Windows 日本語版のインストールが終了すると、次のウィンドウが表示されます。

図 D-2: セットアップ終了



再起動する(R) をクリックして Windows を再起動させた後に、SAS システムを起動してください。

付録 E SAS/GRAPH ソフトウェア用フォント登録

本付録では、SAS/GRAPH ソフトウェア用フォント登録を行う方法と登録したフォントを SAS/GRAPH ソフトウェアで利用する方法を説明します。

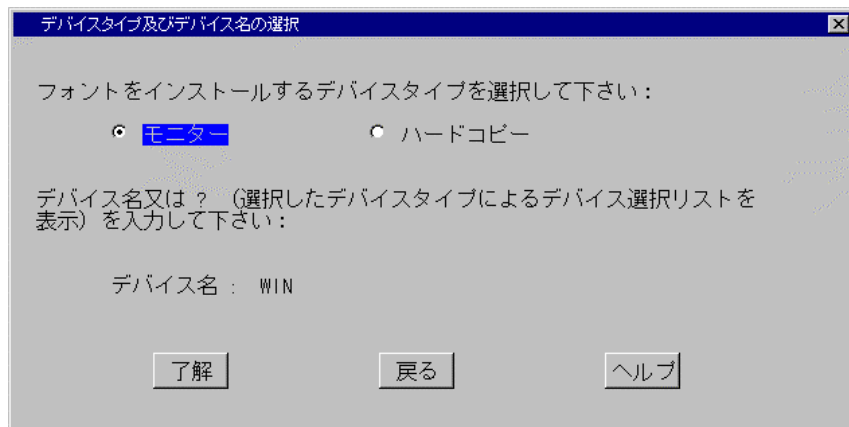
E.1 SAS/GRAPH ソフトウェア用フォント登録

1. SAS システムを起動します。
2. SAS システムのメニュー → を選択します。
3. メニューから [SAS/GRAPH フォント管理ユーティリティ] を選びます。
4. フォントを登録するデバイスタイプ、デバイス名を選択します。

出力デバイス	デバイスタイプ	デバイス名
画面	モニター	WIN
カラープリンタ	ハードコピー	WINPRTC
グレースケールプリンタ	ハードコピー	WINPRTG
モノクロプリンタ	ハードコピー	WINPRTM
プロッタ	ハードコピー	WINPLOT

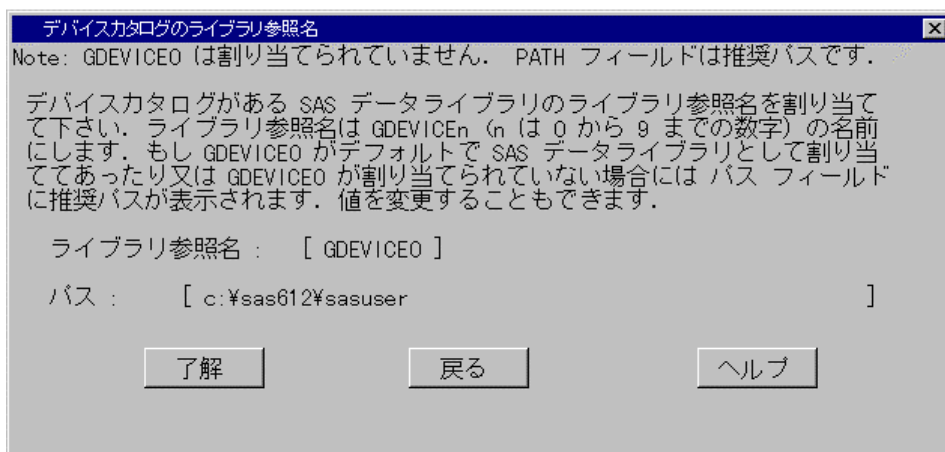
例) TrueType フォントを SAS/GRAPH ソフトウェアで画面に表示するために、
 [デバイスタイプ] = モニター
 [デバイス名] = WIN を選択

図 E-1: フォント登録デバイス



5. 次のウィンドウが表示されますので、**了解** をクリックしてください。

図 E-2: DEVICES カタログのライブラリ参照名



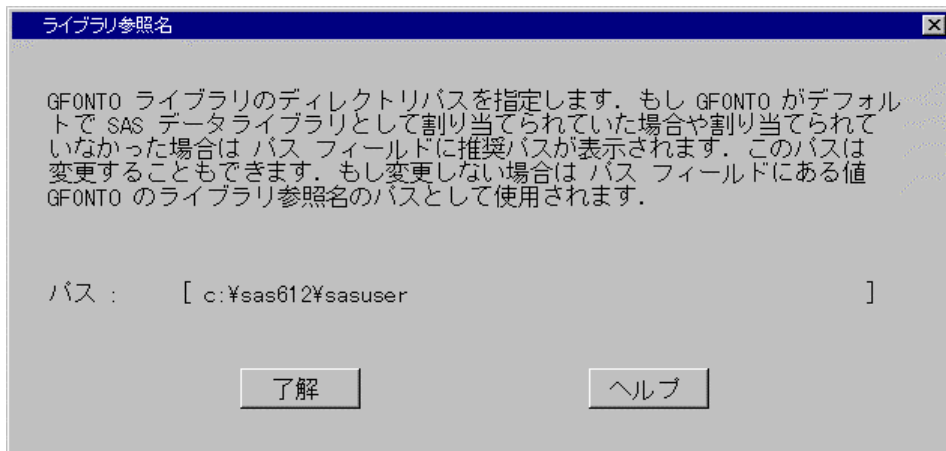
6. 続いて、次のウィンドウが表示されます。パスフィールドに SASUSER ライブラリのパスを入力し、**了解** をクリックしてください。

(例) SAS システムを C:¥SAS612 にインストールした場合

[パス]: C:¥SAS612¥SASUSER

付録 E SAS/GRAPH ソフトウェア用フォント登録

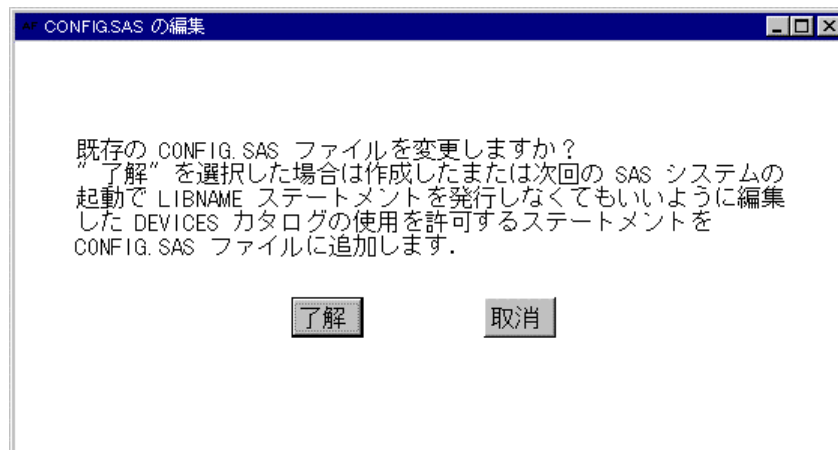
図 E-3: FONTS カタログのライブラリ参照名



7. フォントの登録が終了すると、次のウィンドウが表示されます。 をクリックしてください。

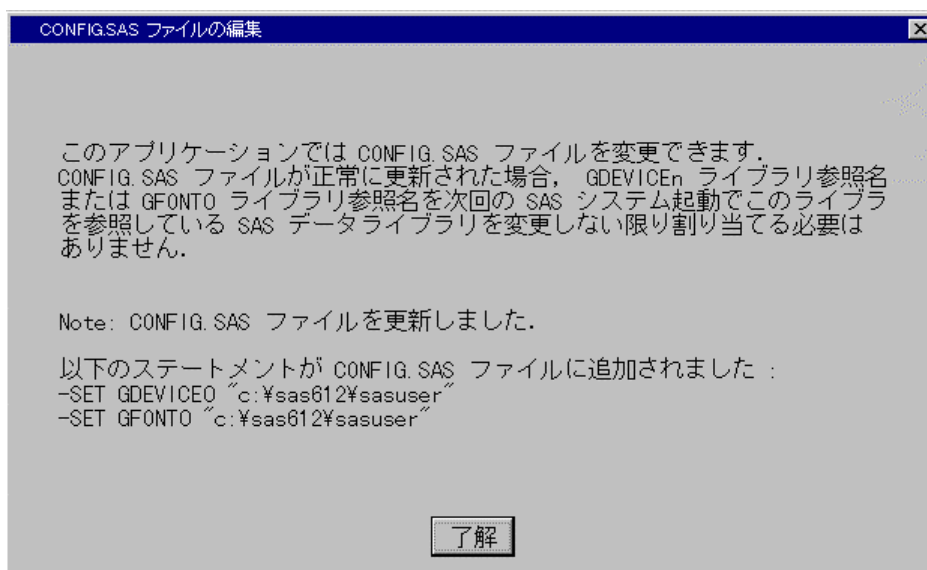
付録 E SAS/GRAPH ソフトウェア用フォント登録

図 E-4: CONFIG.SAS ファイルの編集



8. 最後に次のウィンドウが表示されます。 をクリックしてください。

図 E-5: CONFIG.SAS ファイルの編集



SAS/GRAPH ソフトウェア用フォント登録を行うと、ライブラリ参照名 SASUSER に割り当てられたディレクトリに SAS システムの DEVICES カタログと FONTS カタログが作成されます。

また、CONFIG.SAS ファイル(SAS システムの環境設定ファイル)中に次の 2 行が挿入されます。

```
-SET GDEVICE0 C:¥SAS612¥sasuser  
-SET GFONTO C:¥SAS612¥sasuser
```

(SAS システムを C:\SAS612 ディレクトリにインストールした場合)

E.2 登録されたフォントを SAS/GRAPH ソフトウェアで利用する

1. SAS システムを起動します。
2. 次のプログラムをサブミットします。

```
proc gdevice;
run;
```
3. メニュー **ビュ(V)** → **表示(R)...** を選択し、[表示するデバイス名:] を入力します。
 (例) WIN
4. メニュー **ロ加(L)** → **文字タイプウィンドウ(H)** を選択し、次の[文字タイプウィンドウ]を表示させます。

図 E-6: 文字タイプウィンドウ

The screenshot shows a window titled 'GDEVICE: CharType'. The title bar is blue. Below the title bar, there is a menu bar with 'カタログ : GDEVICE0.DEVICES' and 'エンタリ : WIN'. The main area contains a table with the following columns: CHARTYPE, 行数, 列数, フォント名, and 縮尺可能.

CHARTYPE	行数	列数	フォント名	縮尺可能
0	1	1	DMS Font	N
1	1	1	MS ゴシック	Y
2	1	1	MS Pゴシック	Y
3	1	1	MS 明朝	Y
4	1	1	MS P明朝	Y
5	42	128	System (8x18) 14pt	B
6	48	146	System (7x16) 10pt	B
7	64	128	Terminal (8x12) 9pt	B
8	51	128	FixedSys (8x15) 9pt	B
9	42	128	FixedSys (8x18) 14pt	B
10	48	85	Terminal (12x16) 12pt	B
11	42	102	Terminal (10x18) 14pt	B
12	64	146	Terminal (7x12) 9pt	B
13	96	170	Terminal (6x8) 6pt	B
14	64	204	Terminal (5x12) 9pt	B
15	128	256	Terminal (4x6) 5pt	B
16	34	102	Terminal (10x22) 17pt	B
17	42	128	Terminal (8x18) 14pt	B
18	59	170	Terminal (6x13) 10pt	B
19	96	204	Terminal (5x8) 6pt	B
20	153	341	Terminal (3x5) 4pt	B
0	0	0	_____	-
0	0	0	_____	-
0	0	0	_____	-

ここで登録されているフォントを SAS/GRAPH ソフトウェアで使用することができま
 す。その際、各フォントの CHARTYPE 番号を用います。

5. 全ての GDEVICE ウィンドウを閉じて、PROGRAM EDITOR に戻ります。

付録 E SAS/GRAPH ソフトウェア用フォント登録

6. 1 種類のフォントを使用するときは、GOPTIONS ステートメントの CHARTYPE オプションで文字タイプ番号を指定します。

```
goptions chartype=3; /* MS 明朝 */
title font=none '漢字'; /* font=none を指定します */
proc gslide;
run;
```

7. 1 つのグラフで複数のフォントを使用するときは、FONT=オプションで HWDMXnnn (nnn は CHARTYPE の番号)を指定します。

例えば、CHARTYPE 番号が 3 のときは、HWDMX003 のように 0 を補って 3 桁の番号で指定します。

```
title1 font=HWDMX003 '漢字 1'; /* MS 明朝 */
title2 font=HWDMX001 '漢字 2'; /* MS ゴシック */
proc gslide;
run;
```

付録 F SAS/GRAPH ソフトウェア用 SASNULL ドライバのインストール



Windows 3.1 上で *PS*、*LIPS3A4* などの SAS/GRAPH ソフトウェアのスタンドアローン・ドライバを使用してグラフを出力する場合は、SASNULL ドライバをインストールする必要があります。Windows 95 または Windows NT 上では SASNULL ドライバをインストールする必要はありません。

また、WINPRTx シリーズ・ドライバを使用してグラフを出力する場合は、SASNULL ドライバをインストールする必要はありません。

通常は、SAS/GRAPH ソフトウェアのスタンドアローン・ドライバではなく WINPRTx シリーズ・ドライバを使用してください。その場合、SASNULL ドライバをインストールする必要はありません。SAS/GRAPH ソフトウェアのスタンドアローン・ドライバと WINPRTx シリーズ・ドライバについては、「**Windows 版 SAS システム使用の手引き, Version 6, First Edition**」 118 ページ以降または「**Windows 版 SAS システム使用の手引き, Version 6, Second Edition**」 96 ページ以降をご覧ください。



また、以前のリリースの SAS システムに含まれていた SASNULL ドライバが既にインストールされている場合には、本リリースに含まれる SASNULL ドライバを改めてインストールする必要はありません。

F.1 SASNULL ドライバのインストール

次のようにして SASNULL ドライバを Windows のプリントマネージャに登録します。

1. Windows の[メイン]グループ内の[プリントマネージャ]を起動し、メニュー を選択します。
2. をクリックし、[一覧表にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み]を選択します。
3. をクリックし、次のようにインストール元のディレクトリ名を指定します。

付録 E SAS/GRAPH ソフトウェア用 SASNULL ドライバのインストール

C:¥SAS¥CORE¥SASMISC

(SAS システムを C:¥SAS にインストールした場合)

4. [一覧表にないプリンタや更新されたプリンタの追加]ダイアログボックスで をクリックして SASNULL ドライバをインストールします。



インストールした SASNULL ドライバを[通常使うプリンタ]に設定する必要はありません。SAS システムで SAS/GRAPH ソフトウェアのスタンドアローン・ドライバを使用した際に、自動的に SASNULL ドライバが使われます。

付録 G SAS/GRAPH ソフトウェア地図データセット

TOKYO	東京都地図
TDESC	東京都地図の市町村・区名（漢字）
TDESCE	東京都地図の市町村・区名（英字）

付録 H SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェース使用時の注意点

本付録では、SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェースを使用する上での注意点について説明します。

□ SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェースを使用するには、アクセスするデータの ODBC ドライバが必要です。このドライバは DBMS ベンダやサードパーティーから提供されます。ドライバによってはさらに DBMS 関連ソフトウェアが必要になります。

□ SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェースで使用可能な ODBC ドライバ (16bit もしくは 32bit) は、使用するオペレーティングシステムによって次のように異なります。

OS	使用可能な ODBC ドライバ
Windows 3.1 + Win32s	16 bit ODBC ドライバのみ
Windows 95	32 bit ODBC ドライバのみ
Windows NT	32 bit ODBC ドライバのみ



Windows 95 または Windows NT 上では **32bit ODBC ドライバ**が必要となりますのでご注意ください。

□ SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェースでは、SQL プロシジャによるパススルー機能のみをサポートしています。ACCESS プロシジャ、DBLOAD プロシジャはサポートしていません。

その他、SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェースについての詳細は、オンラインマニュアルの下記の部分を参照してください。

1. SQL プロシジャ パススルー機能について

[SAS システムのヘルプ情報: メインメニュー] [SAS プロダクトに関する情報]

[データベース インタフェース] [SQL プロシジャのパススルー機能]

付録 H SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェース使用時の注意点

2. SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェース固有の機能について

[SAS システムのヘルプ情報: メインメニュー] [SAS プロダクトに関する情報]
[データベース インタフェース] [SQL プロシジャのパススルー機能] [構文]
[データベース固有の構文と例] [ODBC 固有のパススルー機能情報]

付録 I SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェース使用時の注意点

本付録では、SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェースを使用する上での
注意点について説明します。



SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェースを使用する前に、システムの環
境変数 PATH に $\%ORAWIN\%BIN$ ディレクトリが設定されているかを確認してくださ
い。

($\%ORAWIN$ は ORACLE Required Support Files や ORACLE SQL*Net をインスト
ールしたディレクトリを指します。)

設定されていない場合は、次のようにして環境変数 PATH を設定してください。

- ・ Windows 95 の場合

AUTOEXEC.BAT ファイルの PATH に $\%ORAWIN\%BIN$ を追加します。

- ・ Windows NT の場合

[コントロールパネル] [システム]アイコンを選択し、環境変数 PATH に
 $\%ORAWIN\%BIN$ を追加します。

その他、SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェースについての詳細は、
「SAS/ACCESS ソフトウェア: ORACLE インタフェース用リファレンス, Version 6,
First Edition(注文番号 15226)」等をご覧ください。

付録 I SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェース使用時の注意点

付録 J SAS/TUTOR ソフトウェアの起動方法

SAS/TUTOR ソフトウェアを起動するには次のようにしてください。

1. SAS システムを起動します。
2. SAS システムのメニュー を選択します。

注意 : 本リリースでは、CBT101, 102, 103 のみ日本語化されています。CBT104,105,106 は英語版として提供しています。

SAS/TUTOR コース		言語
CBT101	SAS システムの基本操作	日本語
CBT102	DATA ステップによる生データの読み込みとフォーマット	日本語
CBT103	DATA ステップによる変数の作成、加工、処理	日本語
CBT104	カスタムデータ入力アプリケーションの開発	英語
CBT105	SAS/GRAPH アウトプットの作成と拡張	英語
CBT106	PROC TABULATE によるテーブル作成	英語

付録 J SAS/TUTOR ソフトウェアのソフトウェアの起動方法

付録 K SAS システムのディレクトリ構造

SAS システムをインストールすると、次のようなディレクトリ構造が生成されます。

SASROOT

SAS システムがインストールされている最上位のディレクトリ

SASROOT¥*product*¥SASEXE

実行可能ファイル

SASROOT¥*product*¥SASHELP

ヘルプファイル及びカタログファイル

SASROOT¥*product*¥SASMACRO

マクロファイル

SASROOT¥*product*¥SASMSG

メッセージファイル

SASROOT¥*product*¥SAMPLE

サンプルプログラム

SASROOT¥*product*¥SASTEST

テストストリーム用プログラム

SASROOT¥CORE¥SASINST

インストール関連ファイル

SASROOT¥CORE¥SASDLL

SAS システムのスーパーバイザー実行ファイル

SASROOT¥CORE¥SASSAMP

Windows Help 形式で提供されるサンプルプログラム

SASROOT¥CORE¥WINHELP

Windows Help 形式で提供されるヘルプファイル

SASROOT¥CORE¥SASOCX

SAS OLE コントロール(OCX)ファイル

SASROOT¥DBCS¥SASDLL

SAS システムの DBCS 用スーパーバイザー実行ファイル

SASROOT¥JAPANESE¥KANJI

SAS システム漢字フォント(KANJI)用カタログファイル

SASROOT¥JAPANESE¥MINCHO

SAS システム明朝フォント(MINCHO, MINCHOE)用カタログファイル

付録 K SAS システムのディレクトリ構造

SASROOT¥JAPANESE¥MAPS

SAS/GRAPH ソフトウェア日本地図データセット

SASROOT¥BASE¥SASMISC

サンプル AVI, WAV, TIF ファイル

SASROOT¥CONNECT¥SASLINK

SAS/CONNECT ソフトウェアで利用するサンプルスクリプトファイル

SASROOT¥USAGE¥SASHELP

SAS Notes ファイル

Windows 版 SAS システムリリース 6.12(TS060 DBCS2922)インストールガイド

1999 年 11 月 初版第 1 刷発行

発行元 株式会社 SAS インスティテュートジャパン
〒104-0054 東京都中央区勝どき 1-13-1
電話 03(3533)3760

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SAS テクニカルサポート

電話: 03 (3533) 3877 FAX: 03 (3533) 3781